

平成 17 年度「まんなかビジョン住民満足度調査」結果報告

平成 18 年 2 月に実施しました「まんなかビジョン住民満足度調査」について、結果概要をご紹介します。

この調査は、「まんなかビジョン」を多くの方に知っていただくことと、ビジョンに掲げる「中部の目指すべき方向」に対して地域の方の関心や現状の満足度などの評価をお聞きするために実施したものです。中部地方にお住まいの 20 歳以上の方、15,000 人を無作為抽出により選ばせていただき、郵送による発送・回収により調査を行いました。その結果、3,487 票の貴重なご回答をいただきました。

なお、本調査の結果は、今後の地域づくりや「まんなかビジョン」のフォローアップに反映させていただきます。

1. 調査の概要

- | | |
|--------------------|--|
| (1)目的 | <ul style="list-style-type: none">・ 「中部の目指すべき方向」に対する地域の方の関心や現状の満足度などの評価の把握・ まんなかビジョンの情報発信・ 調査結果のまんなかビジョンへのフォローアップへ活用 |
| (2)調査対象およびサンプル抽出方法 | 中部 5 県（岐阜県、静岡県、愛知県、三重県および長野県南信地域）の 20 歳以上の住民 15,000 人(中部地方の人口約 1,500 万人の 0.1%) <ul style="list-style-type: none">・ 各県の総合計画の地域割り区分を最小カテゴリとして、人口構成比により地域別の抽出サンプル数を決定。・ サンプルは住民基本台帳から無作為抽出。 |
| (3)調査方法 | <ul style="list-style-type: none">・ 郵送による発送・回収 |
| (4)調査期間 | <ul style="list-style-type: none">・ 平成 18 年 2 月 10 日から 2 月 24 日 |
| (5)回収状況 | <ul style="list-style-type: none">・ 有効回収数 3,487 票・ 有効回収率 23.2% |
| (6)調査項目 | <ul style="list-style-type: none">・ 中部の目指すべき 7 つの方向に関連する「具体的な目標」や「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み」に対する関心度および満足度・ 「まんなかビジョン」の目標を評価する設問（各関心度・満足度等で 99 問）と回答者属性を聞き取る設問（4 問）の計 103 問。・ 目標を評価する設問として、各目標に対して「関心度を聞く設問」と「目標に対する現状を評価する設問」の 2 問を設置。 |

地域別サンプル抽出数

| 県名 | サンプル抽出数 | 構成比 | NO. | 地域名 | 構成市区町村数 | サンプル抽出数 | 構成比 | 回答数 | 構成比 |
|---------|---------|-------|-----|----------------|---------|---------|------|------|------|
| 岐阜県 | 2,041 | 13.6% | 1 | 飛騨 | 4 | 161 | 1.1 | 51 | 1.5 |
| | | | 2 | 中濃 | 13 | 374 | 2.5 | 94 | 2.7 |
| | | | 3 | 岐阜 | 9 | 776 | 5.2 | 218 | 6.3 |
| | | | 4 | 西濃 | 13 | 379 | 2.5 | 110 | 3.2 |
| | | | 5 | 東濃 | 5 | 351 | 2.3 | 92 | 2.6 |
| 静岡県 | 3,657 | 24.4% | 6 | 伊豆 | 6 | 78 | 0.5 | 15 | 0.4 |
| | | | 7 | 熱海・伊東 | 2 | 113 | 0.8 | 24 | 0.7 |
| | | | 8 | 駿東・田方 | 10 | 657 | 4.4 | 109 | 3.1 |
| | | | 9 | 富士 | 3 | 360 | 2.4 | 59 | 1.7 |
| | | | 10 | 静岡市 | 3 | 680 | 4.5 | 144 | 4.1 |
| | | | 11 | 静岡庵 (静岡市以外) | 3 | 39 | 0.3 | 8 | 0.2 |
| | | | 12 | 志太・榛原 | 9 | 464 | 3.1 | 93 | 2.7 |
| | | | 13 | 中東遠 | 6 | 448 | 3.0 | 83 | 2.4 |
| | | | 14 | 北西遠 | 3 | 817 | 5.4 | 161 | 4.6 |
| 名古屋市 | 2,065 | 13.8% | 15 | 名古屋市 | 16 | 2,065 | 13.8 | 487 | 14.0 |
| 愛知県 | 4,780 | 31.9% | 16 | 海部津島 | 10 | 319 | 2.1 | 70 | 2.0 |
| | | | 17 | 尾張西部 | 2 | 492 | 3.3 | 103 | 3.0 |
| | | | 18 | 尾張中部 | 5 | 147 | 1.0 | 32 | 0.9 |
| | | | 19 | 尾張北部 | 7 | 686 | 4.6 | 175 | 5.0 |
| | | | 20 | 尾張東部 | 6 | 415 | 2.8 | 107 | 3.1 |
| | | | 21 | 知多 | 10 | 570 | 3.8 | 114 | 3.3 |
| | | | 22 | 豊田加茂 | 2 | 433 | 2.9 | 110 | 3.2 |
| | | | 23 | 岡崎額田 | 3 | 377 | 2.5 | 81 | 2.3 |
| | | | 24 | 衣浦東部 | 5 | 458 | 3.1 | 118 | 3.4 |
| | | | 25 | 西尾幡豆 | 4 | 156 | 1.0 | 35 | 1.0 |
| | | | 26 | 新城南北設楽 | 4 | 64 | 0.4 | 14 | 0.4 |
| | | | 27 | 宝飯 | 6 | 252 | 1.7 | 68 | 2.0 |
| | | | 28 | 豊橋渥美 | 2 | 412 | 2.7 | 105 | 3.0 |
| 三重県 | 1,801 | 12.0% | 29 | 桑名・員弁 | 4 | 208 | 1.4 | 47 | 1.3 |
| | | | 30 | 四日市 | 4 | 349 | 2.3 | 76 | 2.2 |
| | | | 31 | 鈴鹿・亀山 | 2 | 229 | 1.5 | 41 | 1.2 |
| | | | 32 | 伊賀 | 2 | 177 | 1.2 | 41 | 1.2 |
| | | | 33 | 津・久居 | 1 | 275 | 1.8 | 72 | 2.1 |
| | | | 34 | 松阪・紀勢 | 5 | 222 | 1.5 | 59 | 1.7 |
| | | | 35 | 伊勢志摩 | 6 | 256 | 1.7 | 57 | 1.6 |
| | | | 36 | 尾鷲 | 2 | 43 | 0.3 | 8 | 0.2 |
| | | | 37 | 熊野 | 3 | 44 | 0.3 | 8 | 0.2 |
| 長野県 | 656 | 4.4% | 38 | 諏訪 | 6 | 203 | 1.4 | 41 | 1.2 |
| | | | 39 | 上伊那 | 10 | 185 | 1.2 | 54 | 1.5 |
| | | | 40 | 飯伊 | 16 | 170 | 1.1 | 38 | 1.1 |
| | | | 41 | 木曾 | 7 | 98 | 0.7 | 14 | 0.4 |
| その他・無回答 | | | | | - | - | - | 51 | 1.5 |
| 合計 | 15,000 | 100% | | | 239 | 15,000 | 100 | 3487 | 100 |

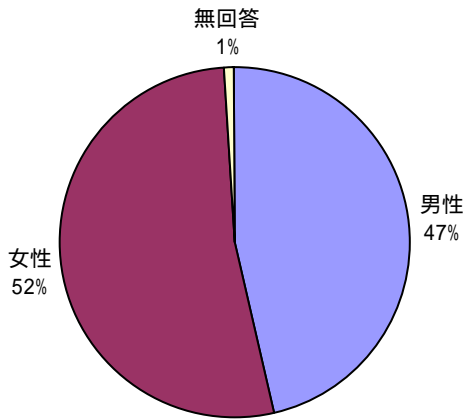
(抽出市町村数・構成は平成17年12月末日現在)

2. 回答者の属性

回答者の属性は以下のとおりです。

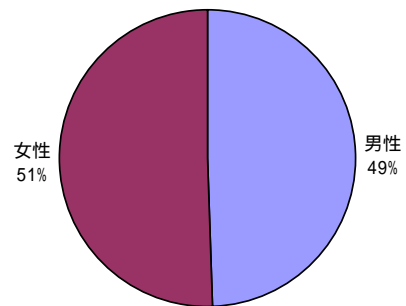
回答者の性別

(n = 3,487)



(参考) 中部地方の男女別人口構成

(人口 : 15,477,264 人)

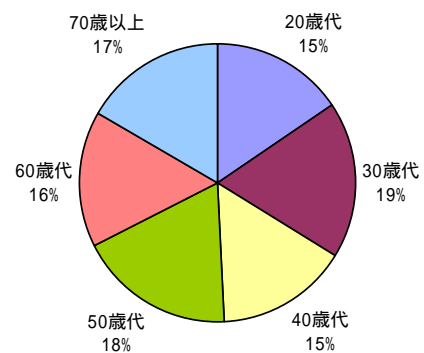
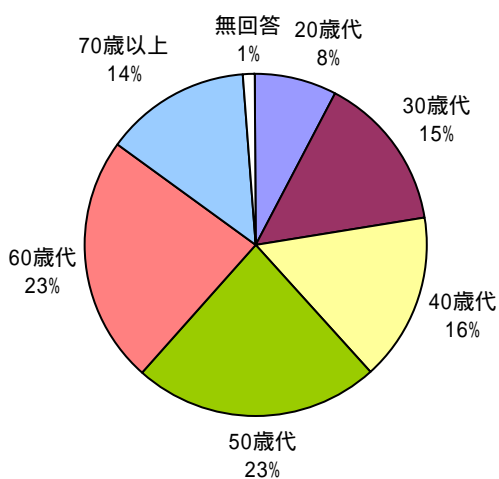


出典 : 住民基本台帳 (平成 17 年 3 月)

性別では「女性」の割合がやや多く、中部地方の男女別構成に比べて、「女性」の回答割合が高くなっています。

回答者の年齢

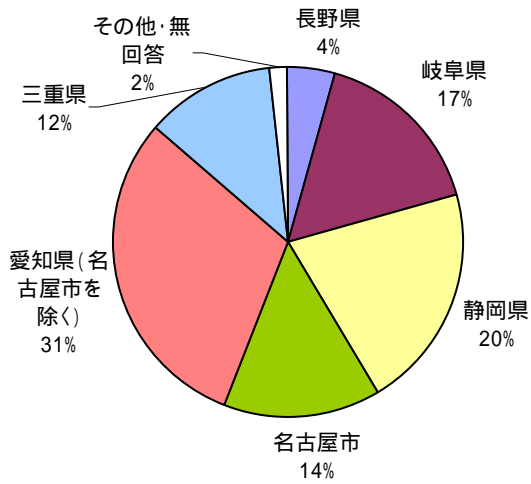
(参考) 中部地方の年齢別人口構成



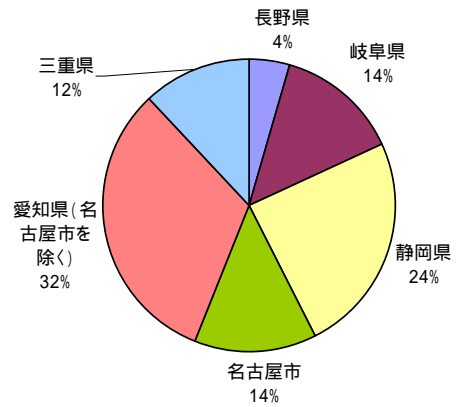
出典 : 住民基本台帳 (平成 17 年 3 月)

年齢では50歳以上の割合が全体の60%以上を占め、中部地方の年齢構成に比べて、「50歳代」、「60歳代」の割合が高くなっています。

回答者の居住地

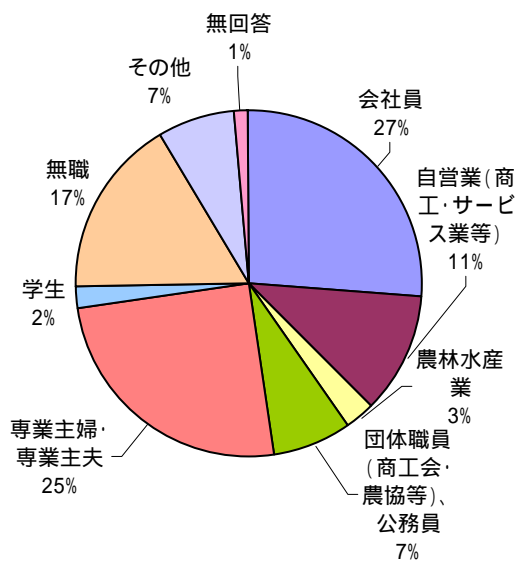


(参考) 中部地方の県別人口構成



居住地では名古屋市を含めた「愛知県」が全体の半数近くを占めていますが、中部地方の県別人口構成とほぼ同じ割合になっています。

回答者の職業



職業では「会社員」、「専業主婦・専業主夫」の割合が多く、全体の半数近くを占めています。

3. 本調査の分析方法

(1)設問構成

アンケートでは、中部の目指すべき方向に対するまんなかビジョンの40の具体的な目標や「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み」について、2種類の設問を設けています。

関心度

「 について、あなたは関心をお持ちですか？」

(選択肢) 1. 関心がある 2. 関心がない

(例) 目標：国内外物流の経済性・確実性を向上します。

「中部地方の港湾や空港における物流サービスを良くすることについて、あなたは関心をお持ちですか？」

満足度

「あなたの住む地域は、(目標において目指す地域の姿)にあると思いますか？」

(選択肢) 1. そう思う 2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない
5. わからない

(例) 目標：国内外物流の経済性・確実性を向上します。

「中部地方の国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的で確実性が高いと思いますか？」

このほかに、「まんなかビジョンの認知度」や「アンケート実施によるビジョンの理解状況」を聞く設問を設置しています。

(2)分析方法

回答結果について、以下の3つの分析を行っています。

関心度

「関心がある」割合を調査しました。関心の度合いが高ければ、関連する施策・事業に対するニーズは高いと見ることができます。一方で、低くなれば、関連する施策・事業に対するニーズは低い、あるいはその必要性に対する認識が住民には十分に伝わっていないと見ることができます。

満足度

回答結果について、5段階による得点評価を行いました。具体的には、「そう思う」を5点、「どちらかといえばそう思う」を4点、「どちらかといえばそう思わない」を2点、「そう思わない」を1点として回答の平均点を算出しています。

得点が中間値である3点よりも高ければ、「そう思う」あるいは「どちらかといえばそう思う」の回答が多く、満足度が高いと見ることができます。一方で、3点を下回れば、今後、満足度を高めるべく、施策・事業を推進することが求められていると見ることができます。

まんなかビジョンの40の具体的な目標のわかりにくさ

満足度の設問に対して、「わかりにくい」と回答した割合を調査しました。満足度の得点には影響しないものですが、目標で推し進めようとしている内容や取り組む必要性が「わかりにくい」という意見であり、その割合が高ければ、方法や機会など、これまで以上に留意して説明を実施することが求められていると考えられます。

(3)分析結果報告の構成

以下に示す2段階の分析を行っています。

全体傾向分析

「関心度」、「満足度」及び「目標のわかりにくさ」のそれぞれの状況について、49の「具体的な目標」や「近年の社会環境の変化から期待される地域の取組み」の回答結果を横断的に比較します。

また、平成15年の調査結果からの変化の状況を分析します。

目標別分析

各目標等について、平成15年度調査からの変化の状況を分析します。

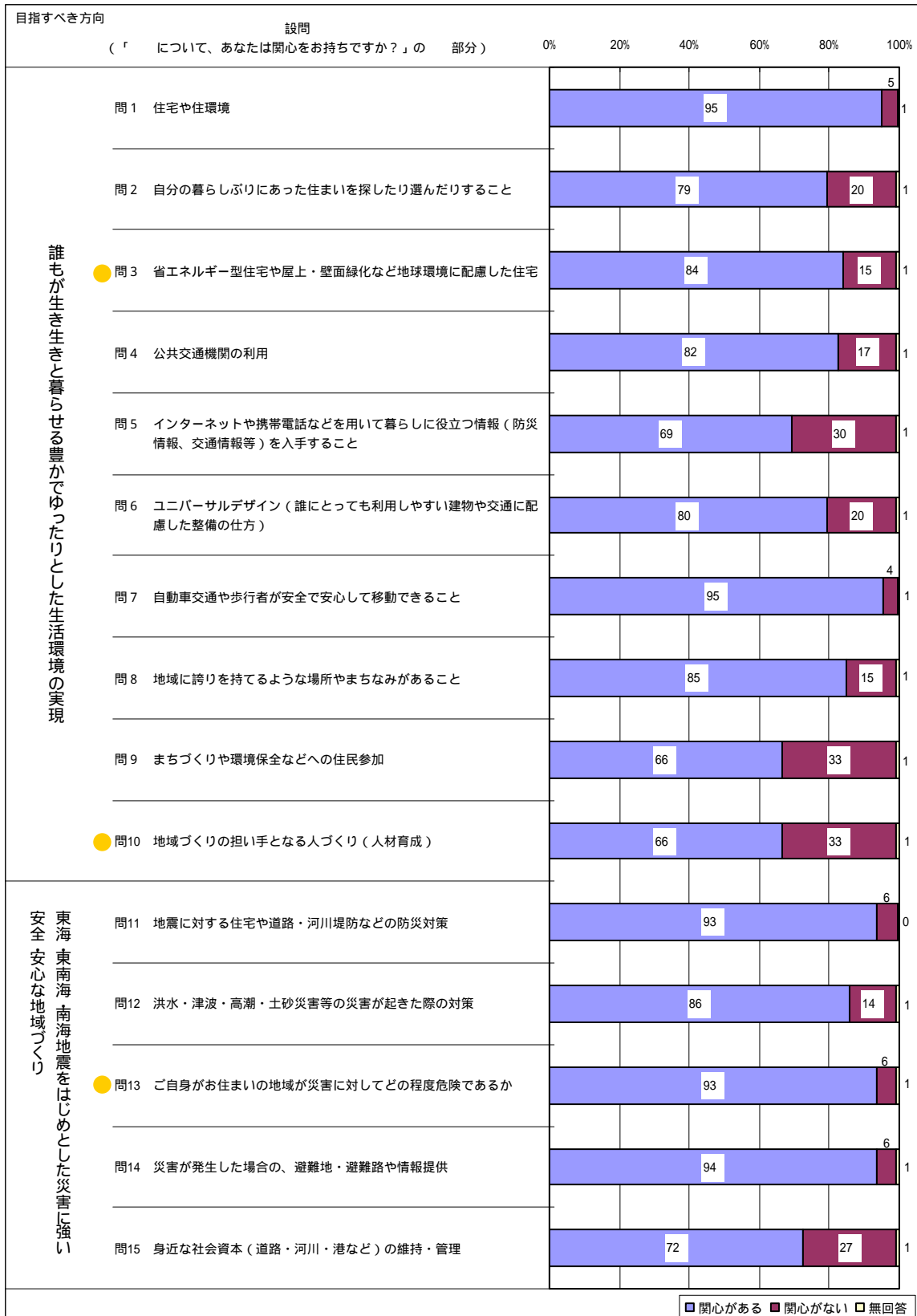
4. 調査結果(総括)

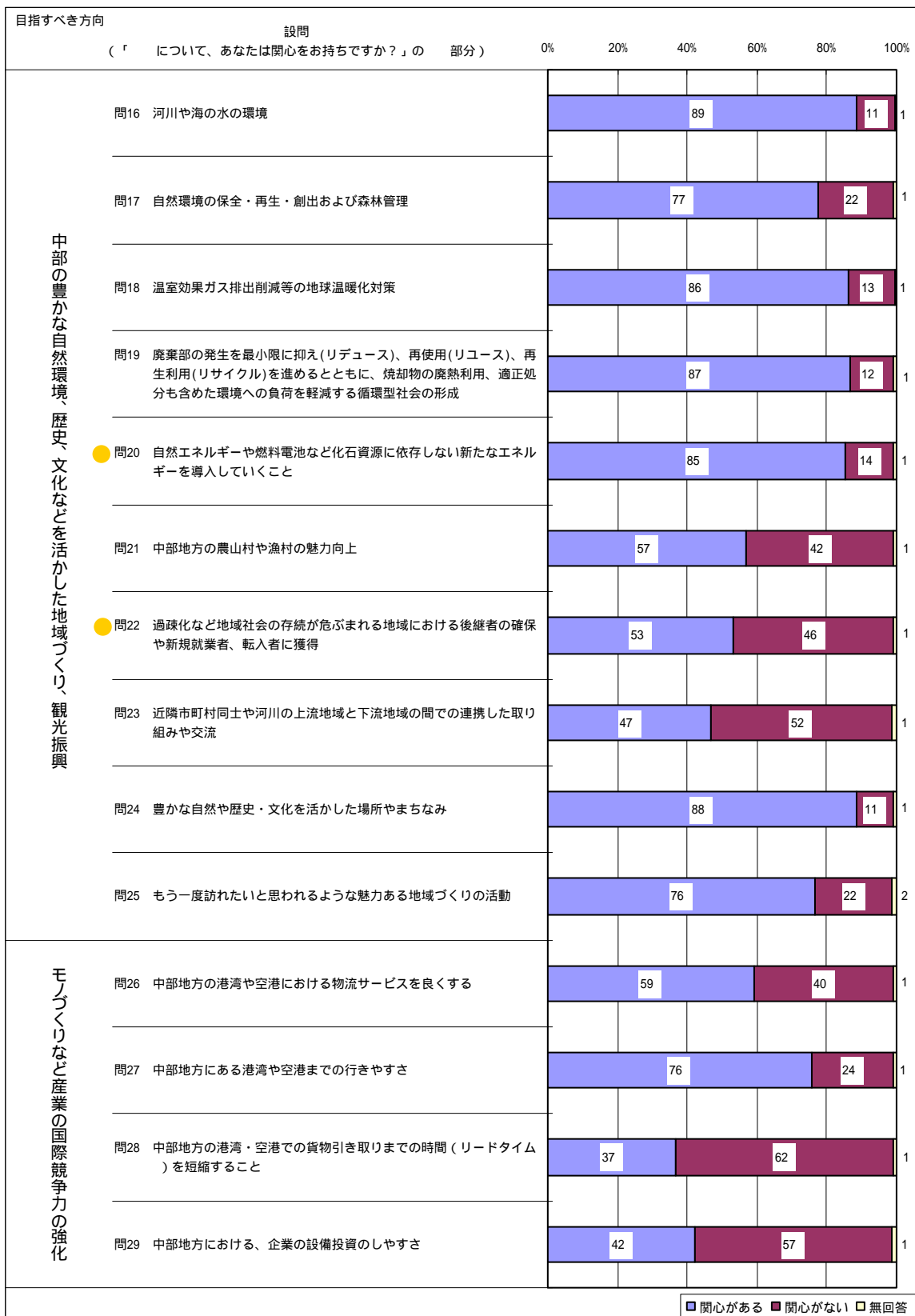
(1) まんなかビジョンの40の具体的な目標に対する関心度

| |
|--|
| 「問 について、あなたは関心をお持ちですか？」 (例) 問1 住宅や住環境について、あなたは関心をお持ちですか？」 |
|--|

- ・ 50%以上の住民が「関心がある」を選択しているのは、全48項目のうち43項目あります。
- ・ 「中部の目指すべき方向」別に見ると、「誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆったりとした生活環境の実現」、「東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり」の2つについて、全ての項目で60%以上の高い関心を示しています。
- ・ 「世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上」については、多くの項目で高い関心を示していますが、「名古屋の国際化」、「外国人にとって暮らしやすい・周遊しやすい公共空間や案内誘導」の2項目は50%以下になっています。
- ・ また、「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興」についても、80%程度を占める項目が多く見られます。
- ・ まんなかビジョンの40の目標以外で、「近年の社会環境の変化から期待される地域の取り組み」として今回新たに加えた8項目(問3、問10、問13、問20、問22、問32、問36、問48)について、「省エネルギー型住宅や屋上・壁面緑化など地球環境に配慮した住宅」、「ご自身がお住まいの地域が災害に対してどの程度危険であるか」、「自然エネルギーや燃料電池など化石資源に依存しない新たなエネルギーを導入していくこと」、「公共交通機関や駅・公園・公共施設等の公共的な場所のテロ等に対する安全性」の4項目の関心度が高く、80%を越えています。また、他の4項目の関心度は、軒並み50%程度となっています。

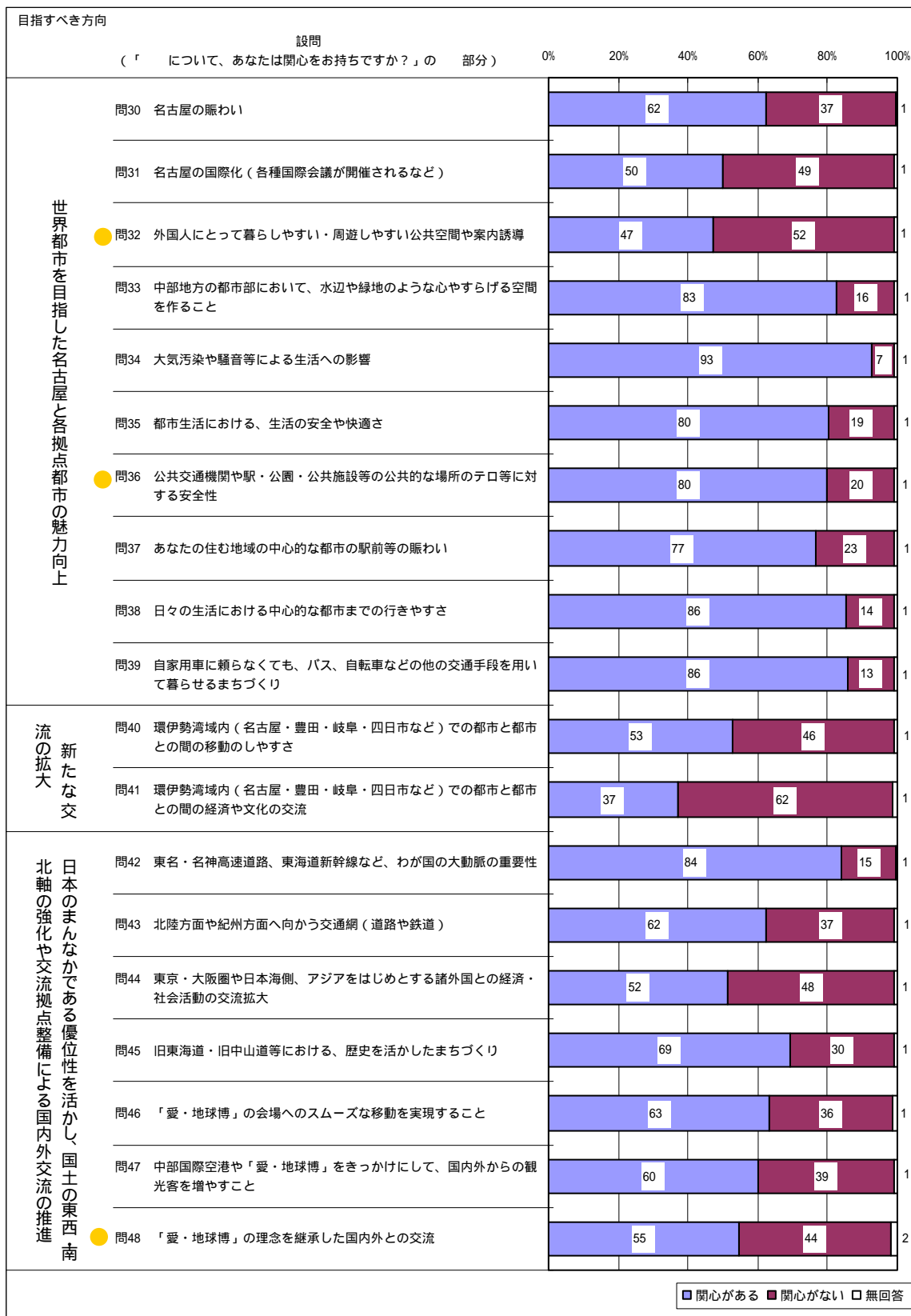
「関心度」総括グラフ





中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興

モノづくりなど産業の国際競争力の強化



●: 新規項目

東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

(2)まんなかビジョンの40の具体的な目標に対する満足度(目標に対する現状の評価)

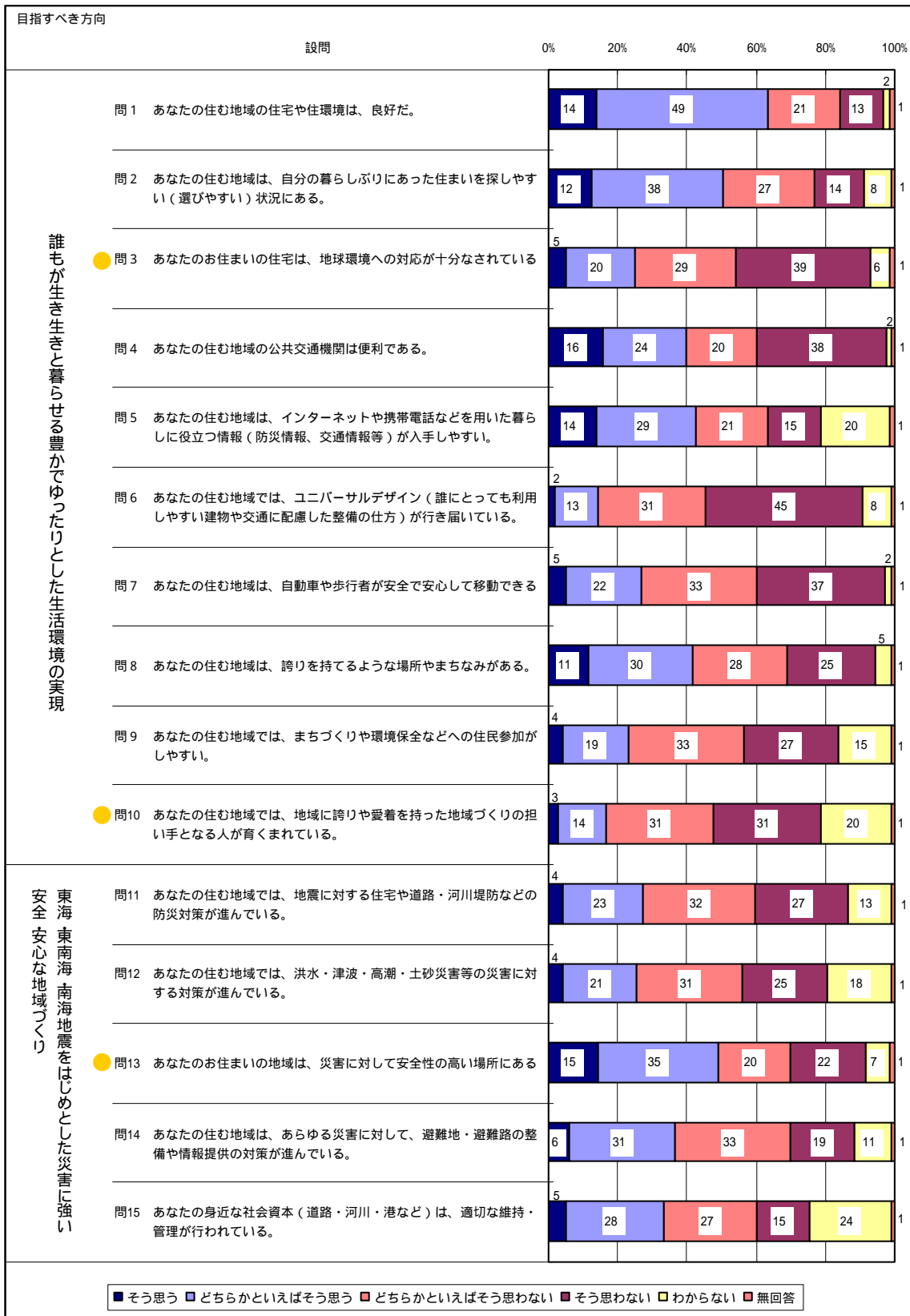
「問 あなたの住む地域は、(目標において目指す地域の姿)にあると思いますか？」

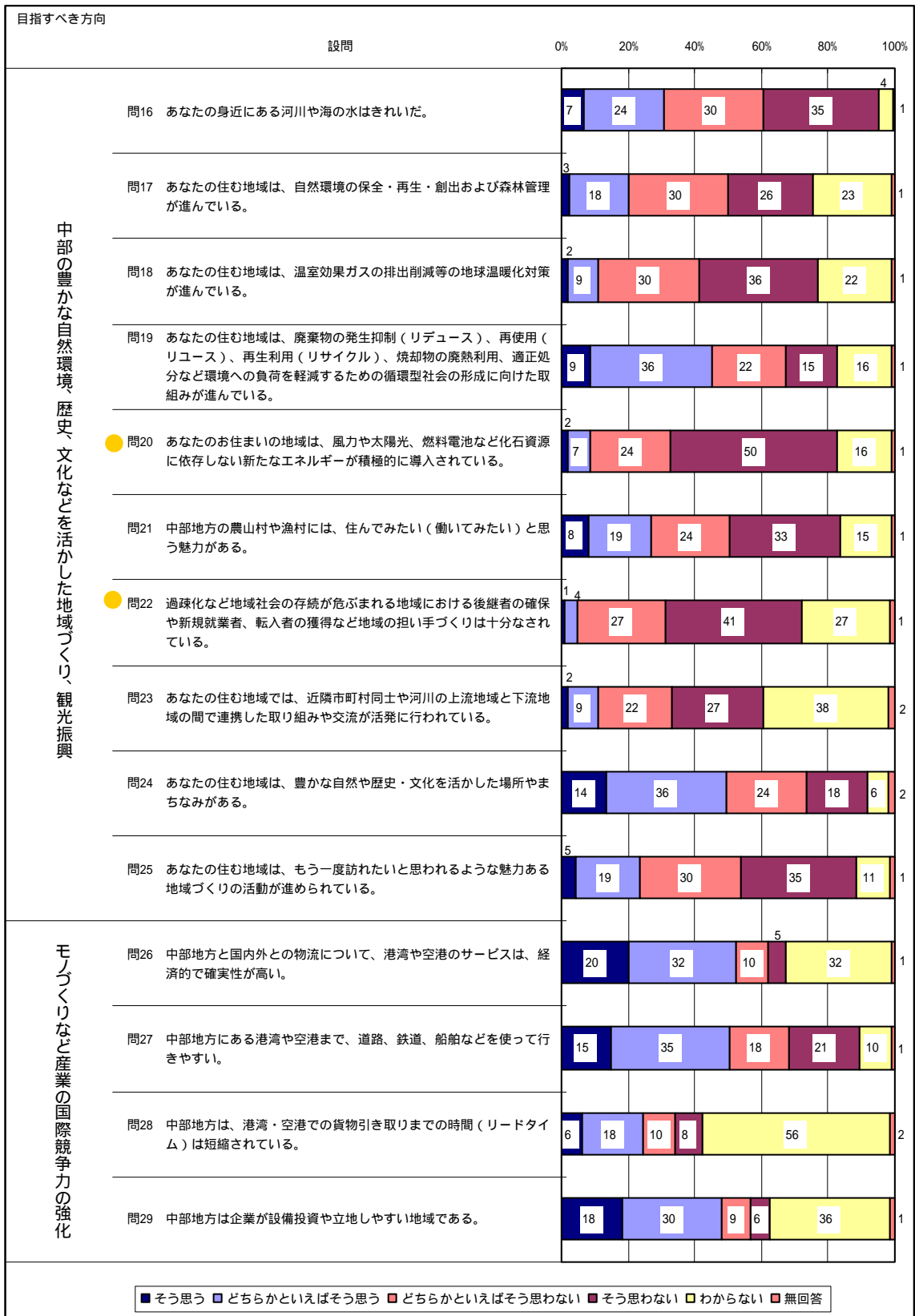
(例)問1 あなたの住む地域の住宅や住環境は、良好だと思えますか？

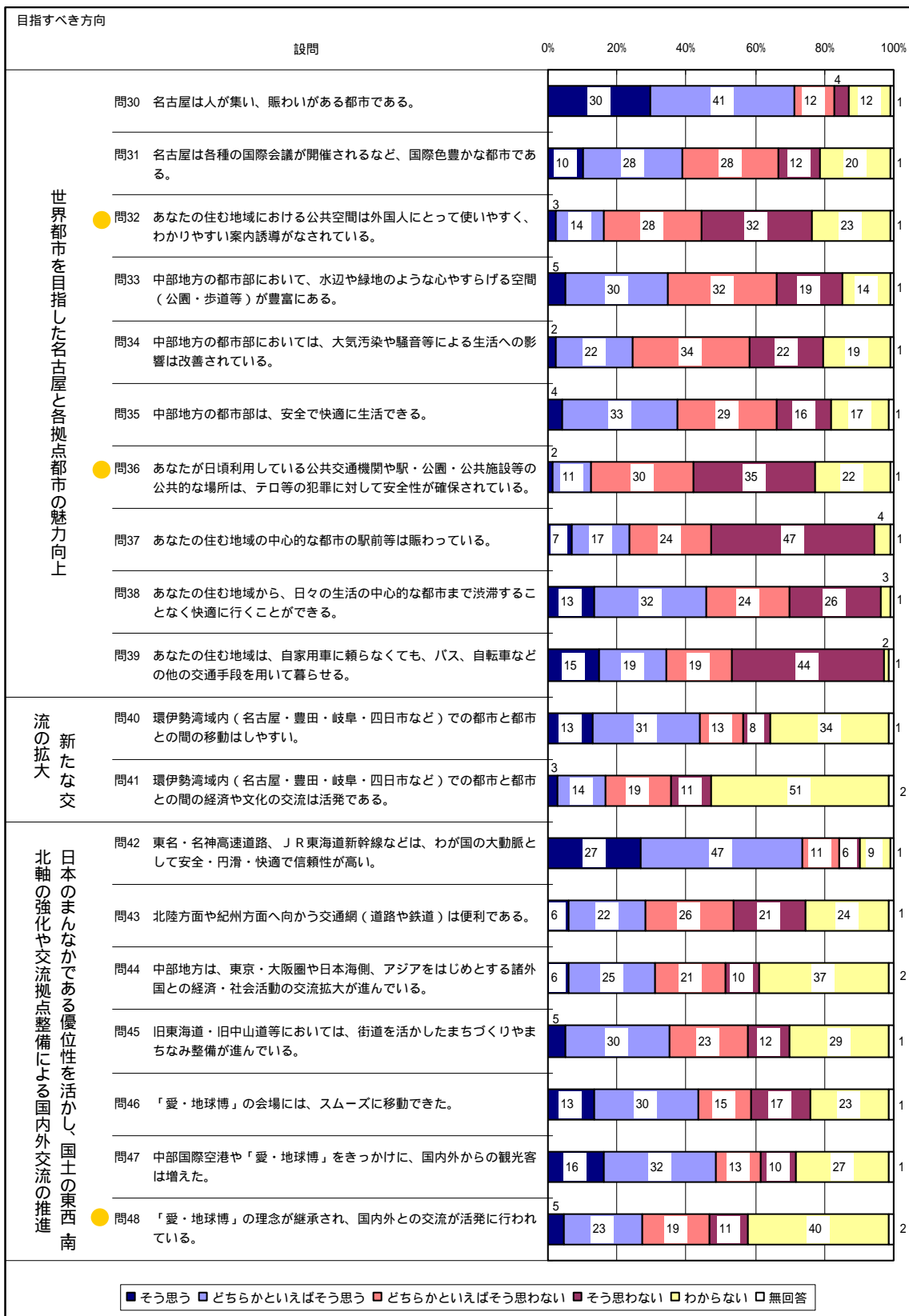
回答結果

- ・ 住民の50%以上が「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」を選択しているのは、全48項目のうち7項目のみとなっています。
- ・ 特に、「東名・名神高速道路、JR東海道新幹線などは、わが国の大動脈として安全・円滑・快適で信頼性が高い」、「名古屋は人が集い、賑わいのある都市である」、「あなたの住む地域の住宅や住環境は、良好だ」の3項目は、60%以上の住民が「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」を選択しています。
- ・ 一方、「あなたの住む地域では、ユニバーサルデザイン(誰にとっても利用しやすい建物や交通に配慮した整備の仕方)が行き届いている」、「あなたの住む地域は、自動車や歩行者が安全で安心して移動できる」、「あなたのお住まいの地域は、風力や太陽光、燃料電池など化石資源に依存しない新たなエネルギーが積極的に導入されている」、「あなたの住む地域の中心的な都市の駅前等は賑わっている」の4項目は、住民の70%以上が「どちらかといえばそう思わない」あるいは「そう思わない」を選択しています。
- ・ また、「中部地方は、港湾・空港での貨物引き取りまでの時間(リードタイム)は短縮されている」、「環伊勢湾域内(名古屋・豊田・岐阜・四日市など)での都市と都市との間の経済や文化の交流は活発である」の2項目は、「わからない」の割合が50%を超えています。
- ・ 新規項目(問3、問10、問13、問20、問22、問32、問36、問48)について、問13「あなたのお住まいの地域は、災害に対して安全性の高い地域ある」で、「そう思う」あるいは「どちらかと言えばそう思う」の割合が50%を超えています。その他の項目では軒並み低くなっています。

「満足度」総括グラフ







●：新規項目

東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

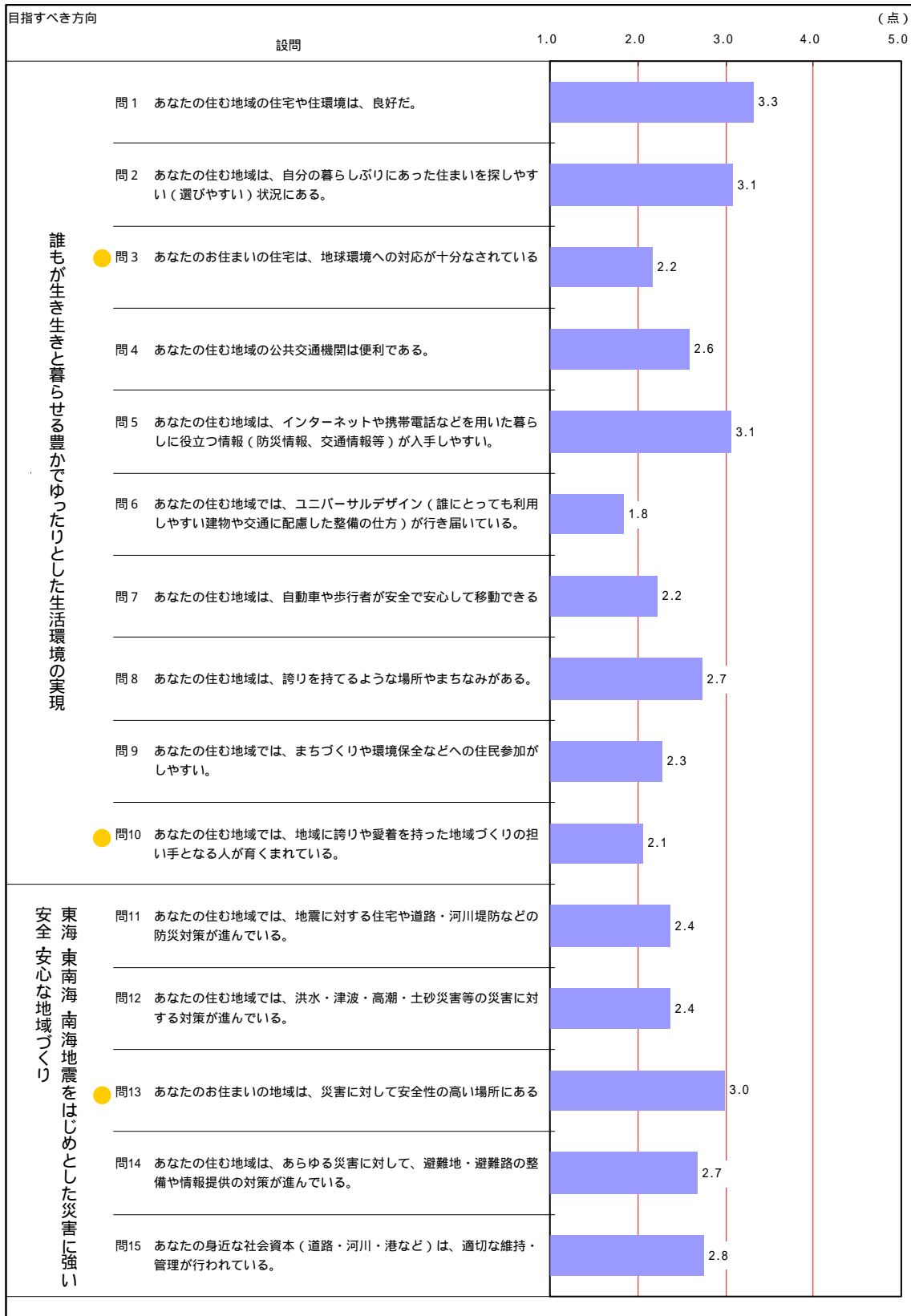
得点化による分析

(算出方法と結果の見方)

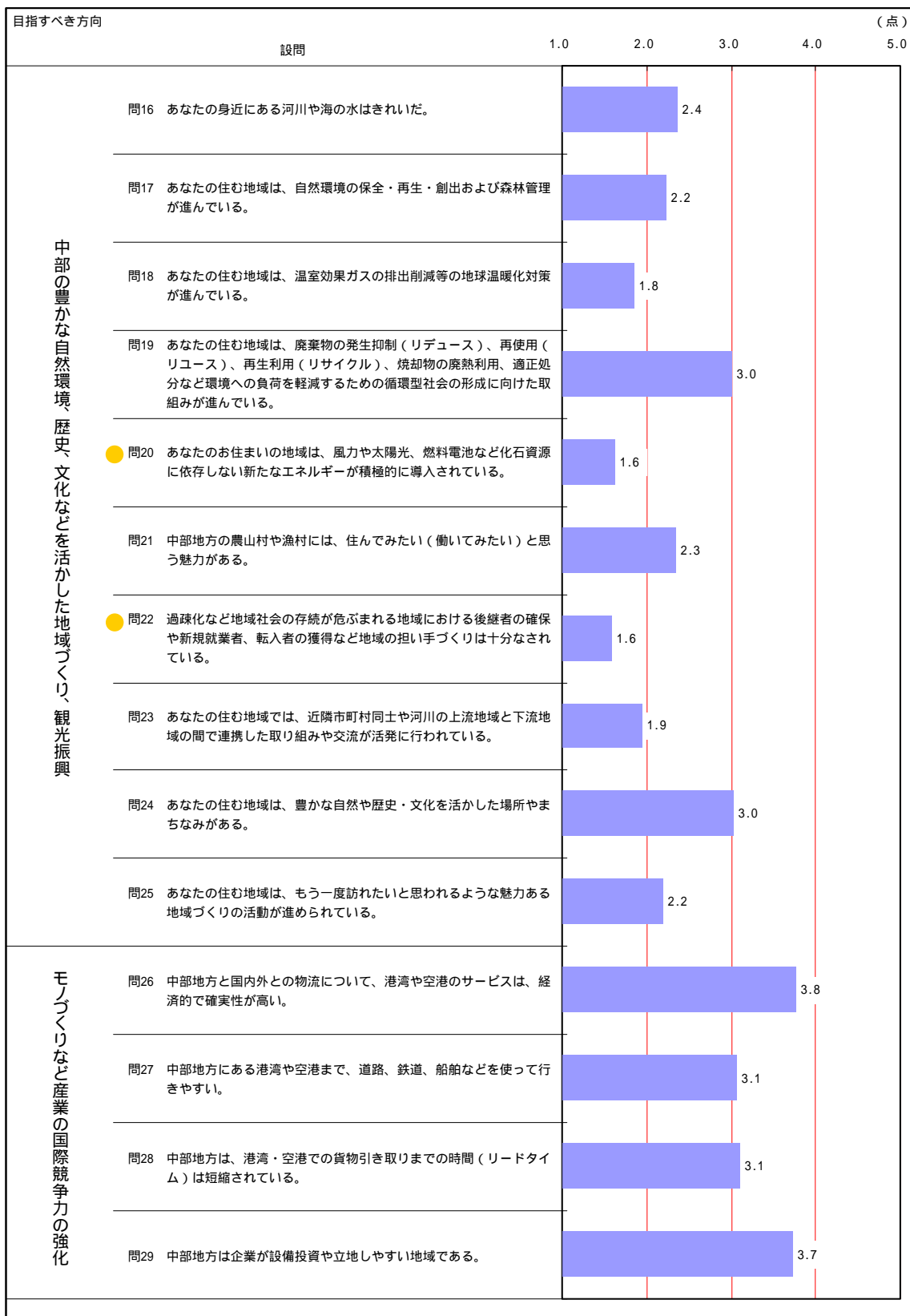
- ・ 「そう思う」5点、「どちらかといえばそう思う」4点、「どちらかといえばそう思わない」2点、「そう思わない」1点として項目ごとに回答の平均点を算出。
- ・ 「わからない」、「無回答」は得点の対象にならない。
- ・ 得点が3.0点以上となれば、よく評価していると判断できる。

- ・ 全体の平均点は2.7点（H15年度調査：2.6点）となりました。
- ・ 全目標のうち3.0点を上回っているのは、14項目となっています。
- ・ 「中部の目指すべき方向」別にみると、「モノづくりなど産業の国際競争力の強化」について、全ての項目で3.0点以上となっています。
- ・ 一方、「東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全・安心な地域づくり」、「中部の豊かな自然環境、歴史、文化などを活かした地域づくり、観光振興」、「世界都市を目指した名古屋と各拠点都市の魅力向上」では、全ての項目の得点が3.0点以下となっています。
- ・ 平成17年度調査にて新たに設問として加えた項目（問3、問10、問13、問20、問22、問32、問36、問48）について、問13「あなたのお住まいの地域は、災害に対して安全性の高い地域ある」と問48「『愛・地球博』の理念が継承され、国内外との交流が活発に行われている」が3点前後であるのを除いて満足度の得点が2.0前後であり、地域の取組みが期待される課題として住民が認識していることが伺えます。

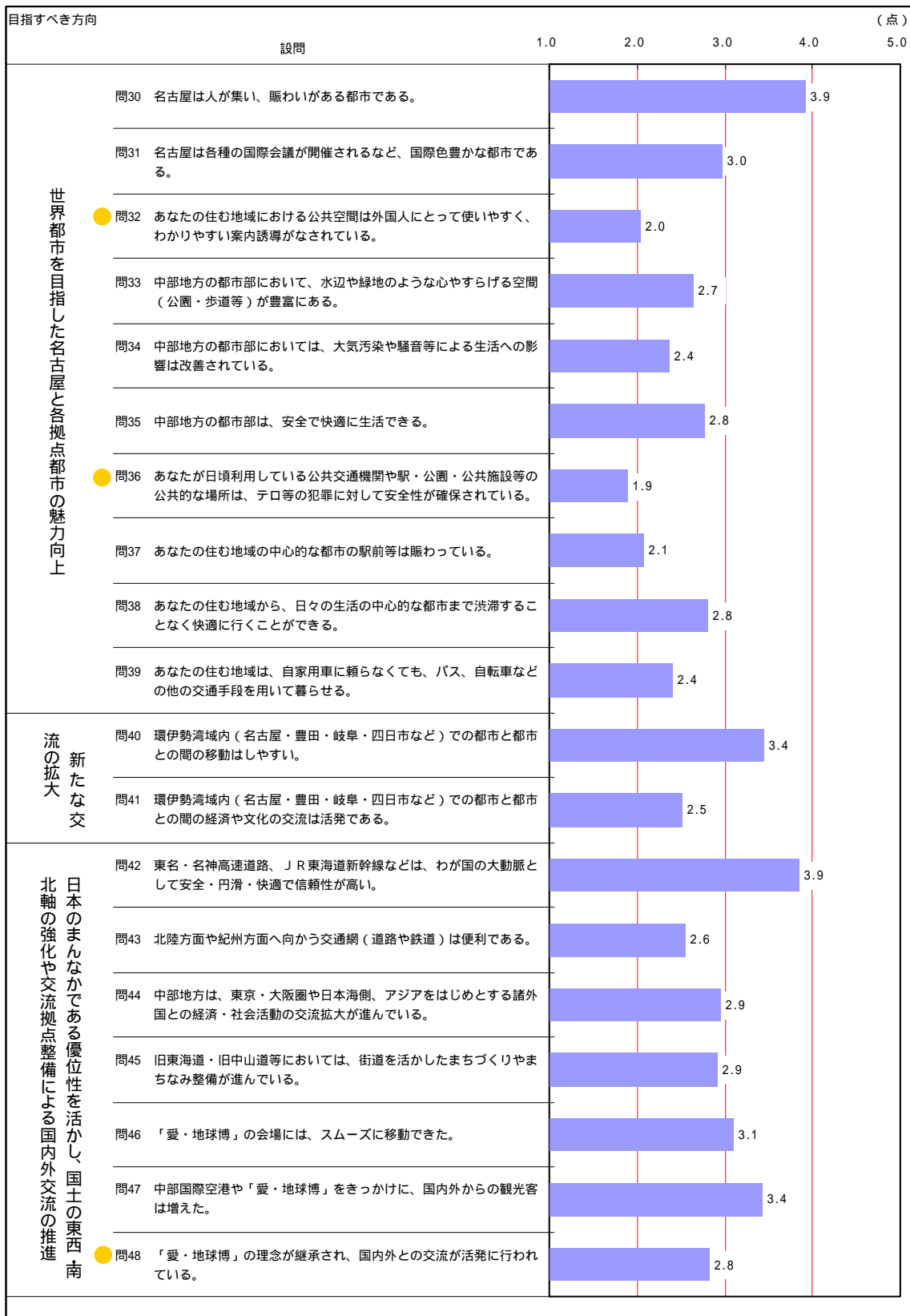
「満足度」得点グラフ



● : 新規項目



● : 新規項目



● : 新規項目

東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

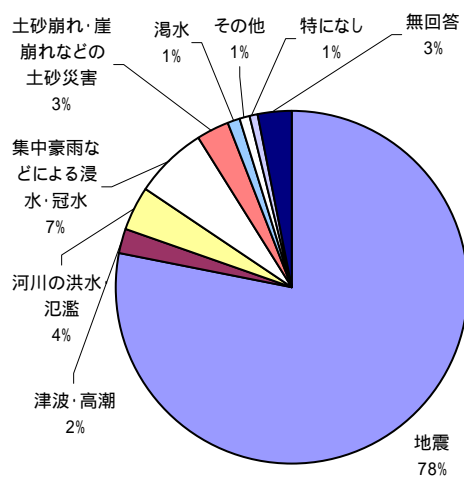
問13-3

「問 あなたが最も重要視している災害は次のうちどれに当てはまりますか？最も当てはまるもの1つをお選び下さい。

- | | | |
|------------------|-------------------|------------|
| 1.地震 | 2.津波・高潮 | 3.河川の洪水・氾濫 |
| 4.集中豪雨などによる浸水・冠水 | 5.土砂崩れ・崖崩れなどの土砂災害 | |
| 6.渇水 | 7.その他 | 8.特になし |

- ・ 全体の約80%が「地震」と回答しており、住民の東海・東南海・南海地震に対して不安の大きいことが伺えます。

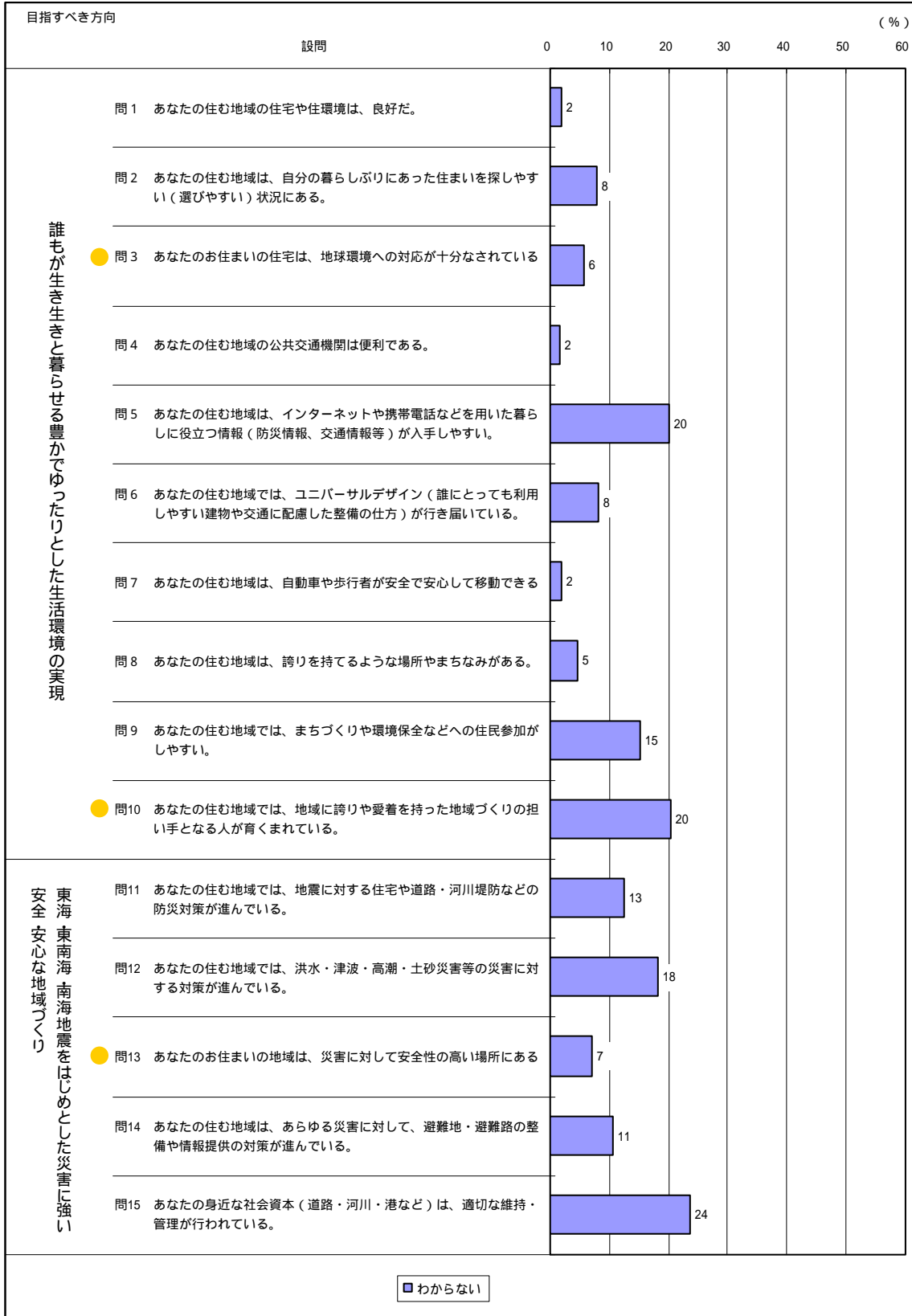
最も重要視している災害 (n=3,487)

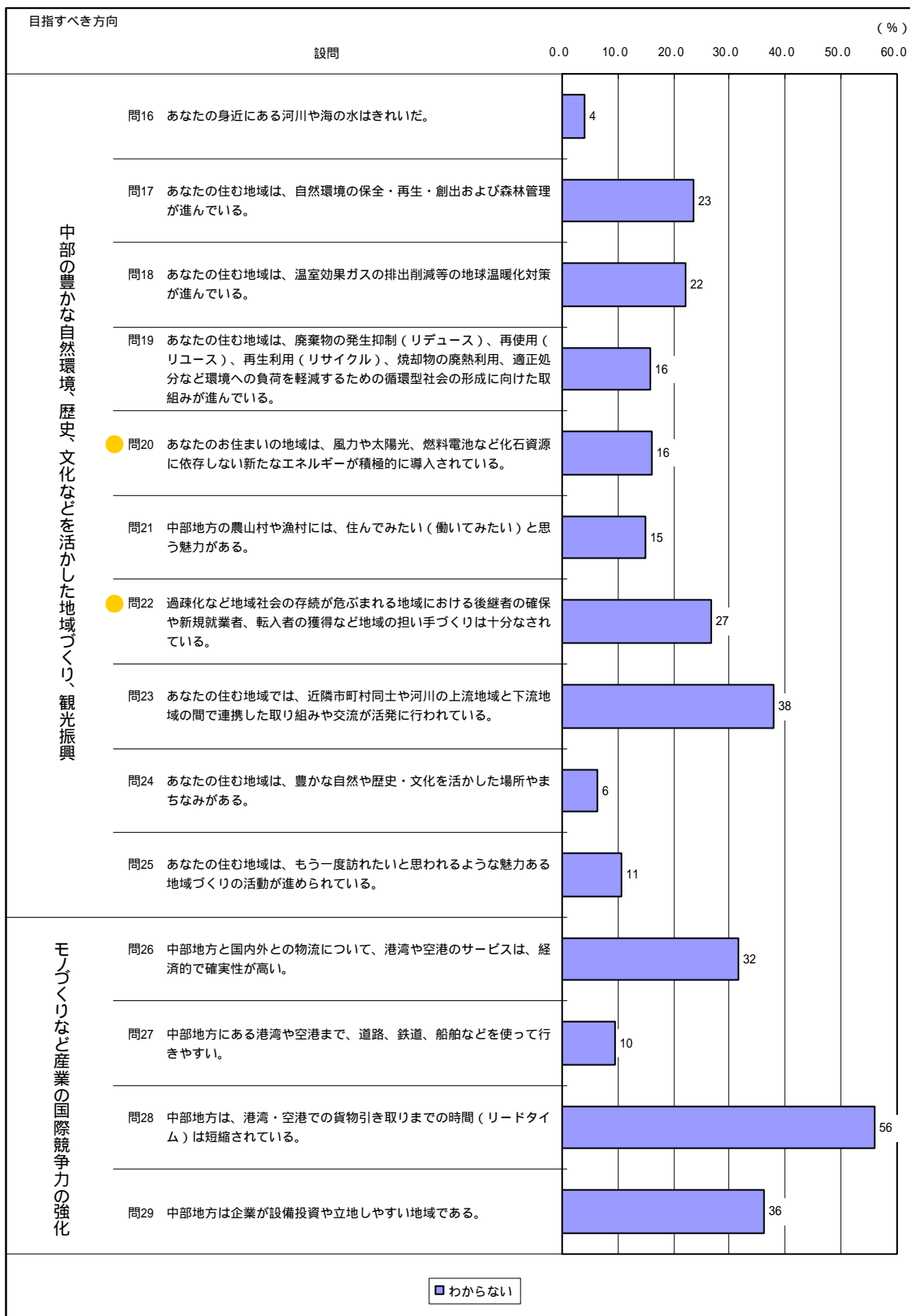


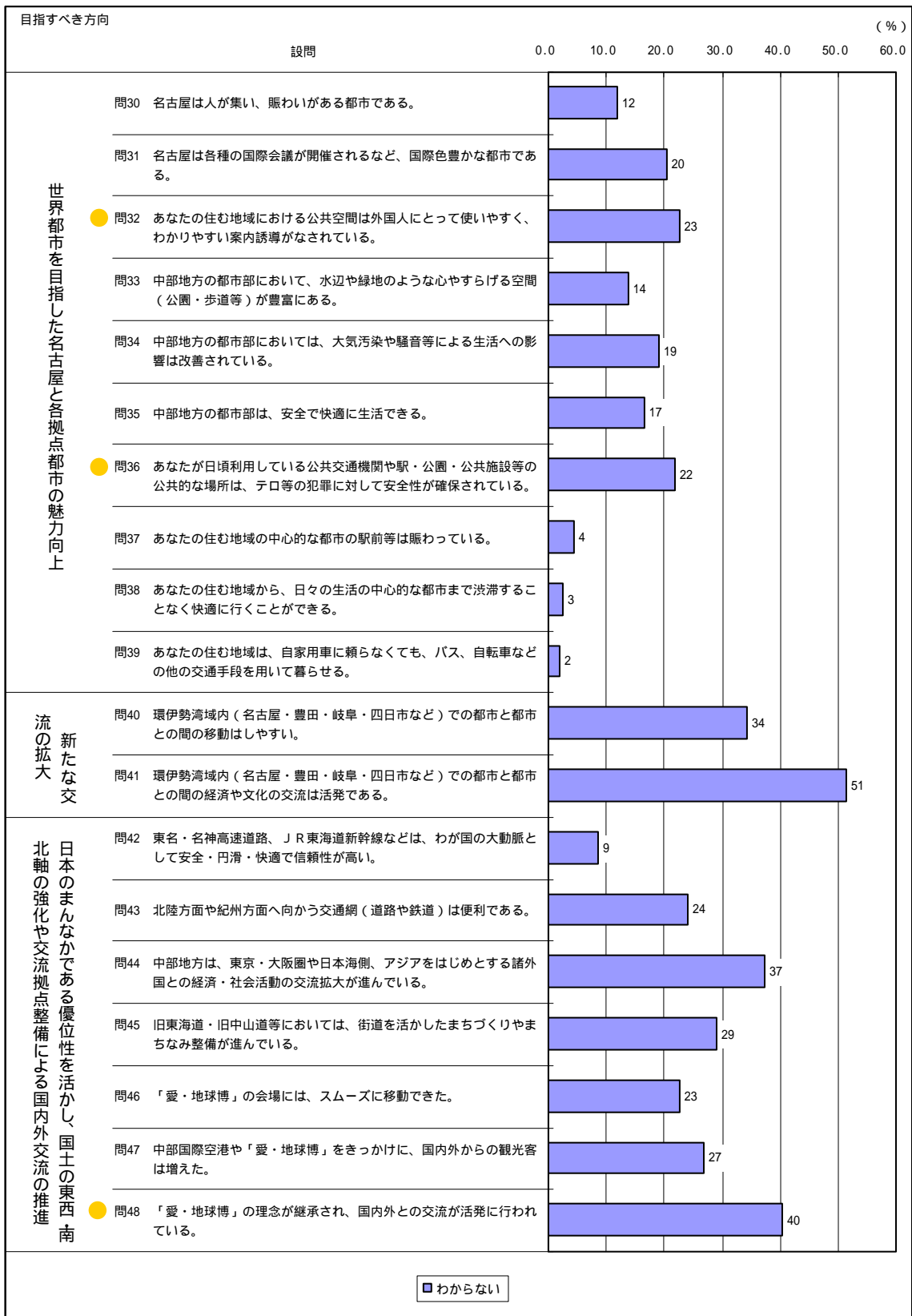
(3) まんなかビジョンの 40 の具体的な目標のわかりにくさ

- ・ 満足度に関する設問について、「わからない」を選択した割合が 20%を超えているものは、全 48 項目のうち 21 項目となっています。
- ・ 最も割合が高いのは、「中部地方は、港湾・空港での貨物引き取りまでの時間（リードタイム）は短縮されている」で 56%、次いで「環伊勢湾内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間は移動しやすい」が 51%となります。
- ・ 7 つの目指すべき方向に着目すると、「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進」の 7 項目のうち、6 項目で 20%を超えており、また、「東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大」の 2 項目も 20%を超えています。
- ・ 平成 17 年度調査にて新たに設問として加えた 8 項目（問 3、問 10、問 13、問 20、問 22、問 32、問 36、問 48）では、「『愛・地球博』の理念が継承され、国内外との交流が活発に行われている」が 40%であるのをはじめ、5 項目が 20%を超えています。

「まんなかビジョンの40の具体的な目標のわかりにくさ」グラフ







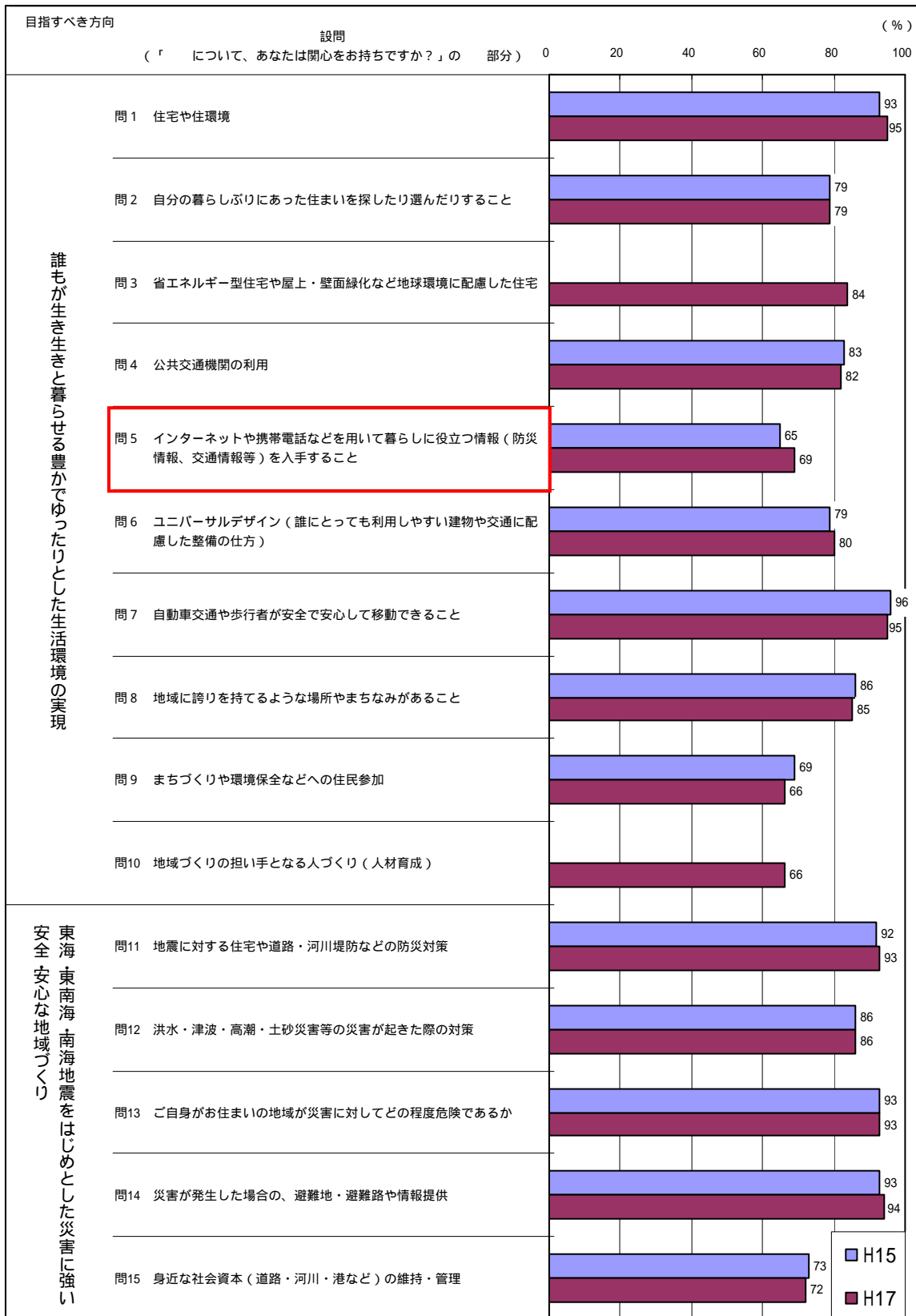
東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

(4)平成 15 年度調査との比較

関心度の比較

- ・ 平成 15 年度調査と比較して、関心度が上昇したのは 15 項目、低下したのは 16 項目でした。うち、関心度が 3 ポイント以上変化したものは 13 項目ありますが、「中部の目指すべき方向」別で特徴的な変化は見られませんでした。
- ・ 項目別にみると、最も関心度が増加したのは「中部国際空港や『愛・地球博』をきっかけにして、国内外から観光客を増やすこと」、「『愛・地球博』の会場へのスムーズな移動を実現すること」で、それぞれ 6 ポイント、5 ポイントの上昇となっています。
- ・ また、「中部地方における港湾や空港までの行きやすさ」、「環伊勢湾内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）で都市と都市との間の移動のしやすさ」、「名古屋の賑わい」等の関心度も大きく高まっており、いずれも近年実施された中部地方のビッグプロジェクトに関わりの深い項目において関心度の上昇が見られます。
- ・ 一方、最も関心度が低下したのは「中部地方の港湾・空港での貨物引き取りまでの時間（リードタイム）を短縮すること」で、11%の低下となりました。

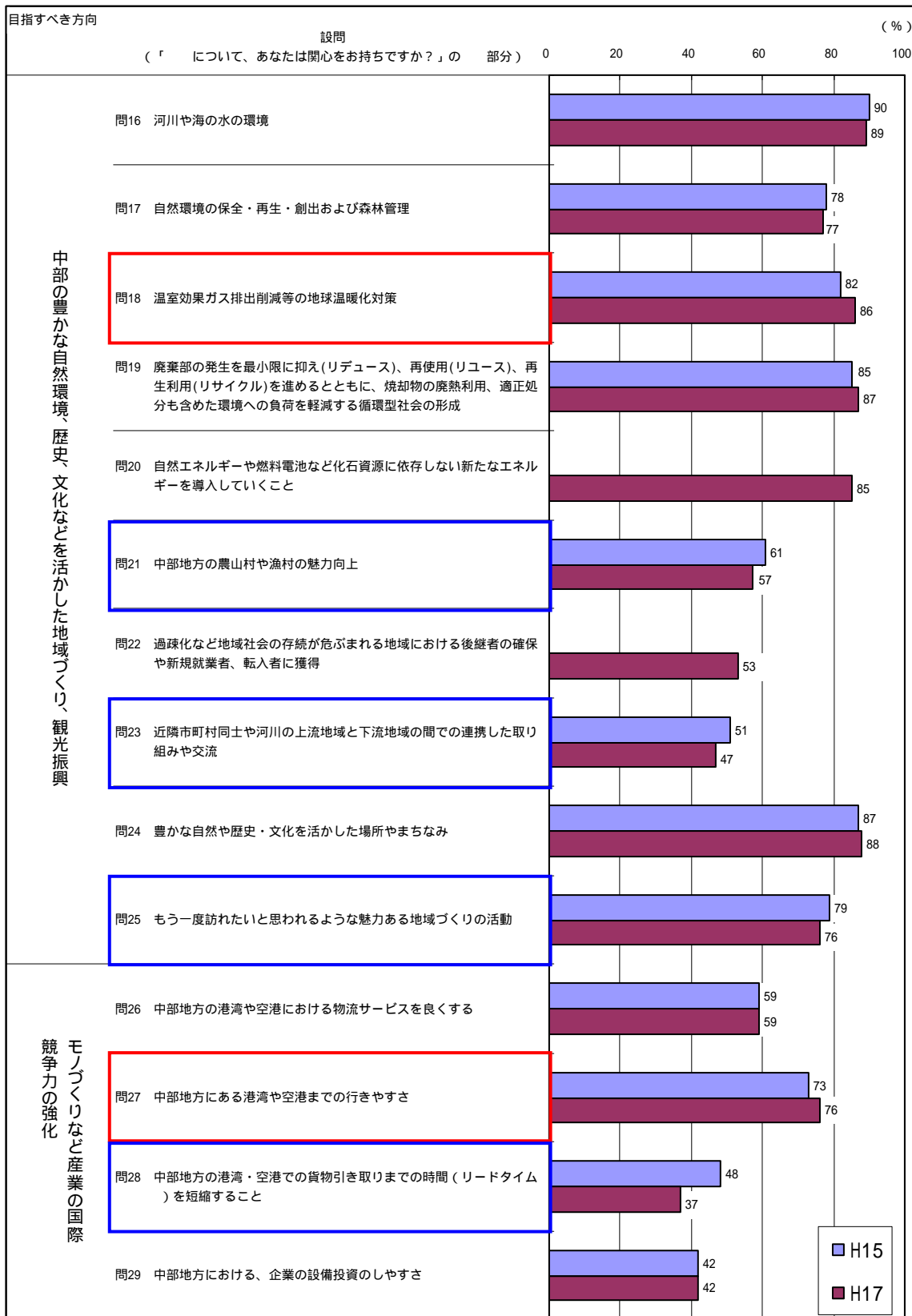
関心度の比較グラフ（H15 年度調査比較）



誰もが生き生きと暮らせる豊かでゆたかりとした生活環境の実現

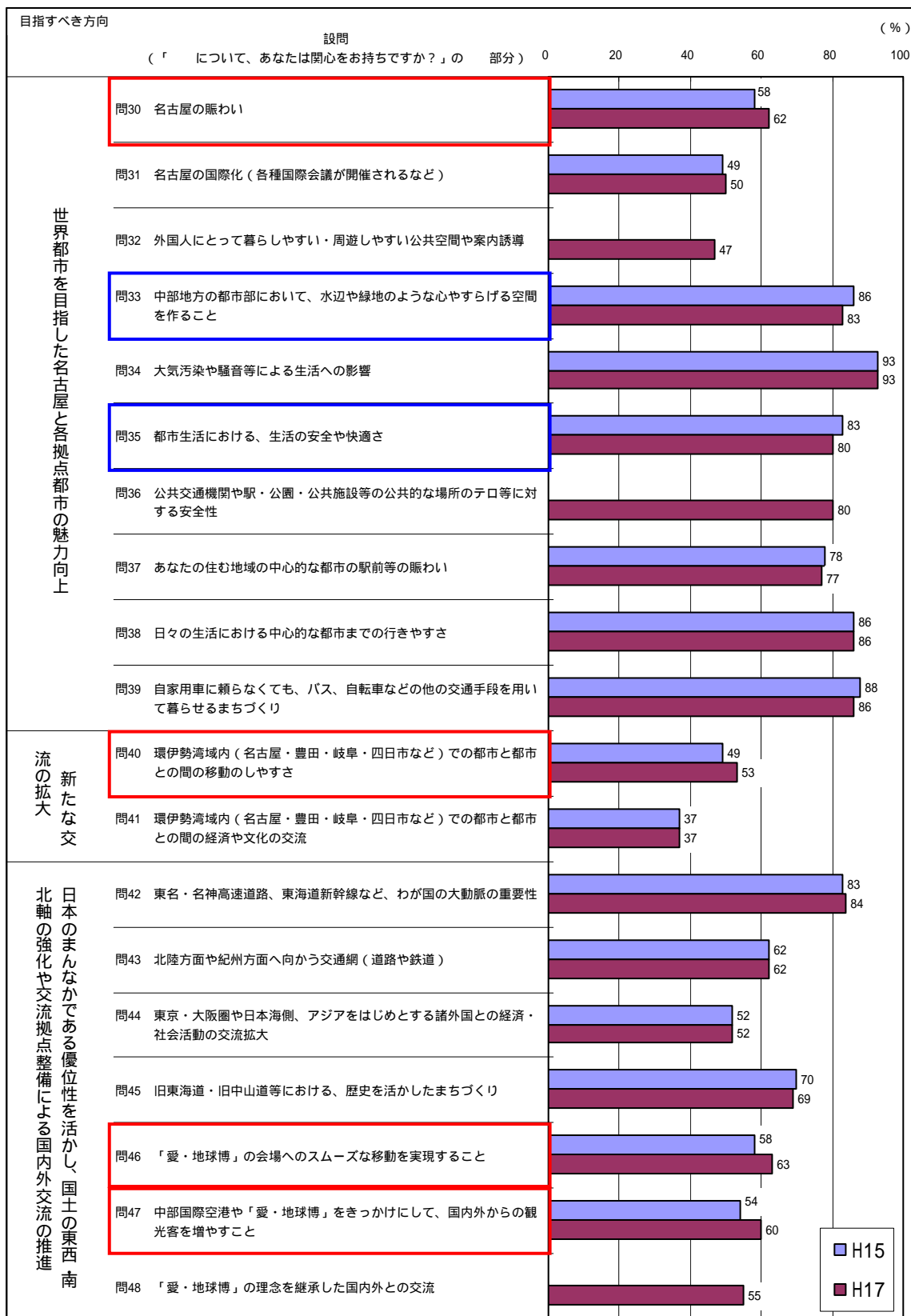
東海・東南海・南海地震をはじめとした災害に強い安全安心な地域づくり

 3ポイント以上上昇した項目
 3ポイント以上低下した項目



3ポイント以上上昇した項目

3ポイント以上低下した項目



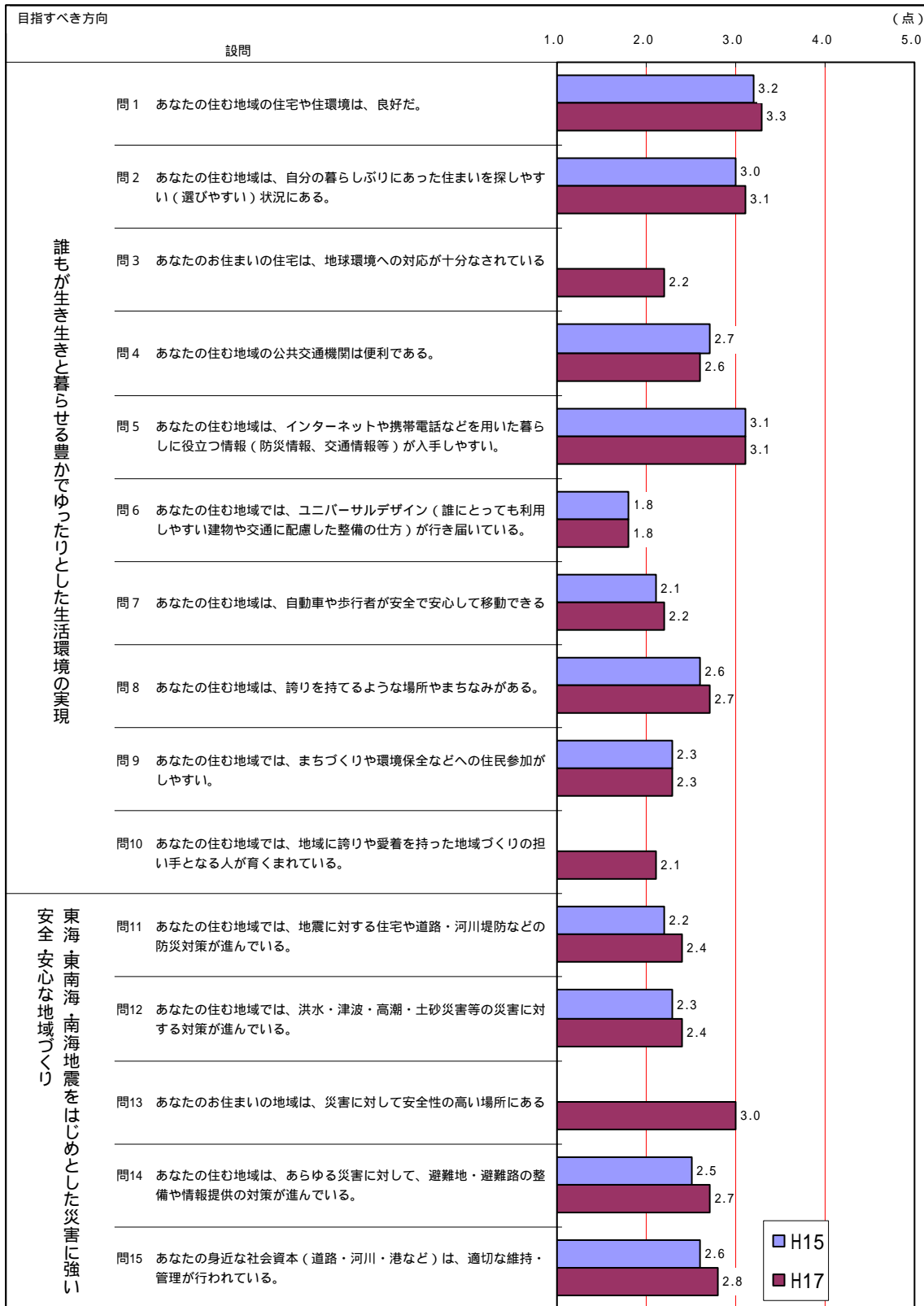
東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

3ポイント以上上昇した項目
3ポイント以上低下した項目

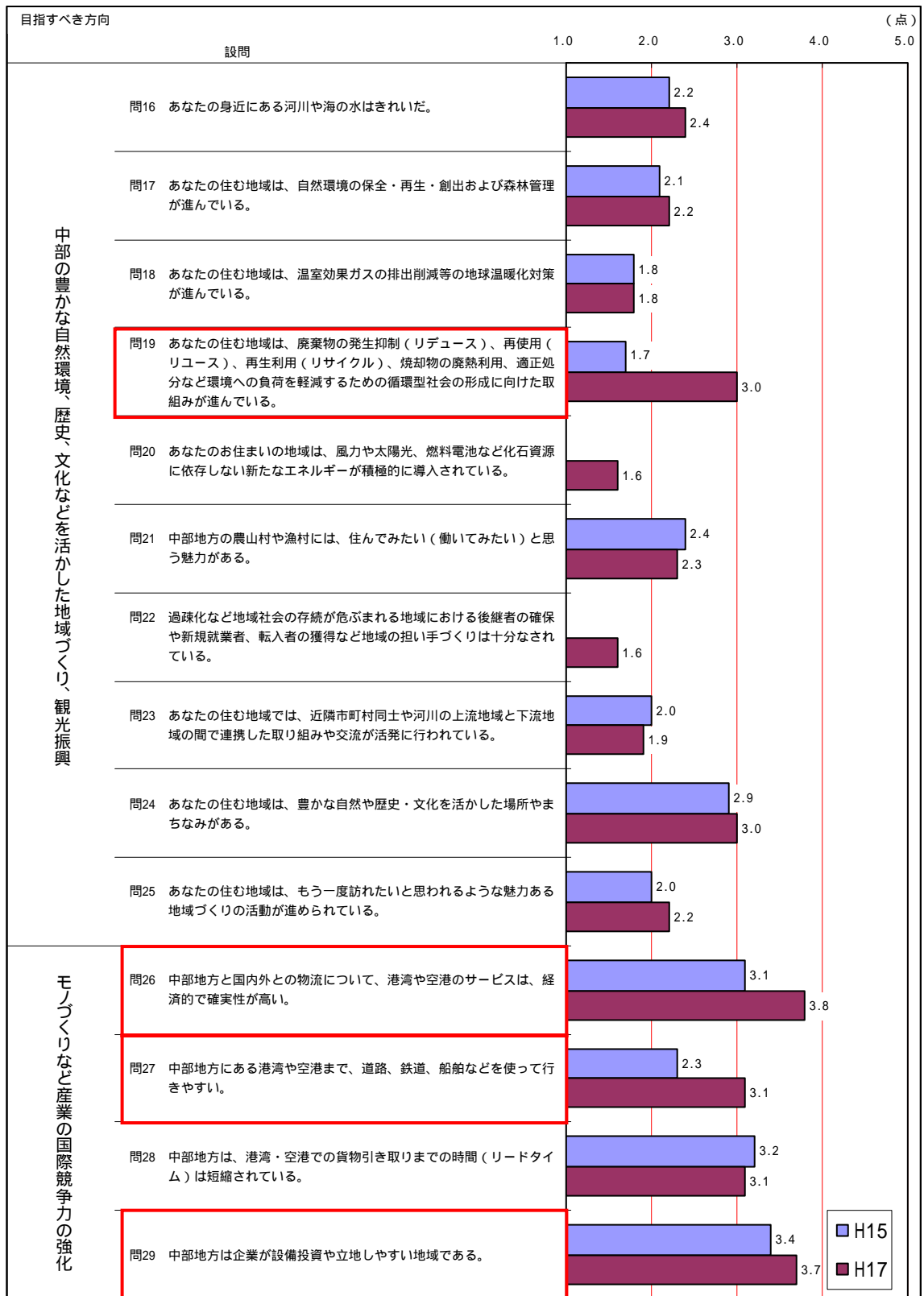
満足度の比較

- ・ 平成 15 年度と比較して、満足度が上昇したのは 30 項目、低下したのは 5 項目であり、各項目の満足度は概ね上昇しています。満足度が 0.3 点以上上昇したのは 10 項目であり、うち「モノづくりなど産業の国際競争力の強化」、「日本のまんなかである優位性を活かし、国土の東西・南北軸の強化や交流拠点整備による国内外交流の推進」の分野で 3 項目ずつ入っています。
- ・ 項目別にみると、最も満足度が向上したのは、「あなたの住む地域は、廃棄物の発生抑制（リデュース）再使用（リユース）再生利用（リサイクル）焼却物の廃熱利用、適正処分など環境への負荷を軽減するための循環型社会の形成に向けた取り組みが進んでいる（1.3 点）」であり、以下、「中部地方にある港湾や空港まで、道路、鉄道、船舶などを使って行きやすい（0.8 点）」、「中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的で確実性が高い（0.7 点）」、「環伊勢湾域内（名古屋・豊田・岐阜・四日市など）での都市と都市との間の移動はしやすい（0.6 点）」などが続いています。
- ・ これらは、中部国際空港の開港、「愛・地球博」の開催とそれに伴い整備が進められた高規格幹線道路等の社会資本整備に関連した項目であり、事業の実施により満足度が大きく増加したことが伺えます。

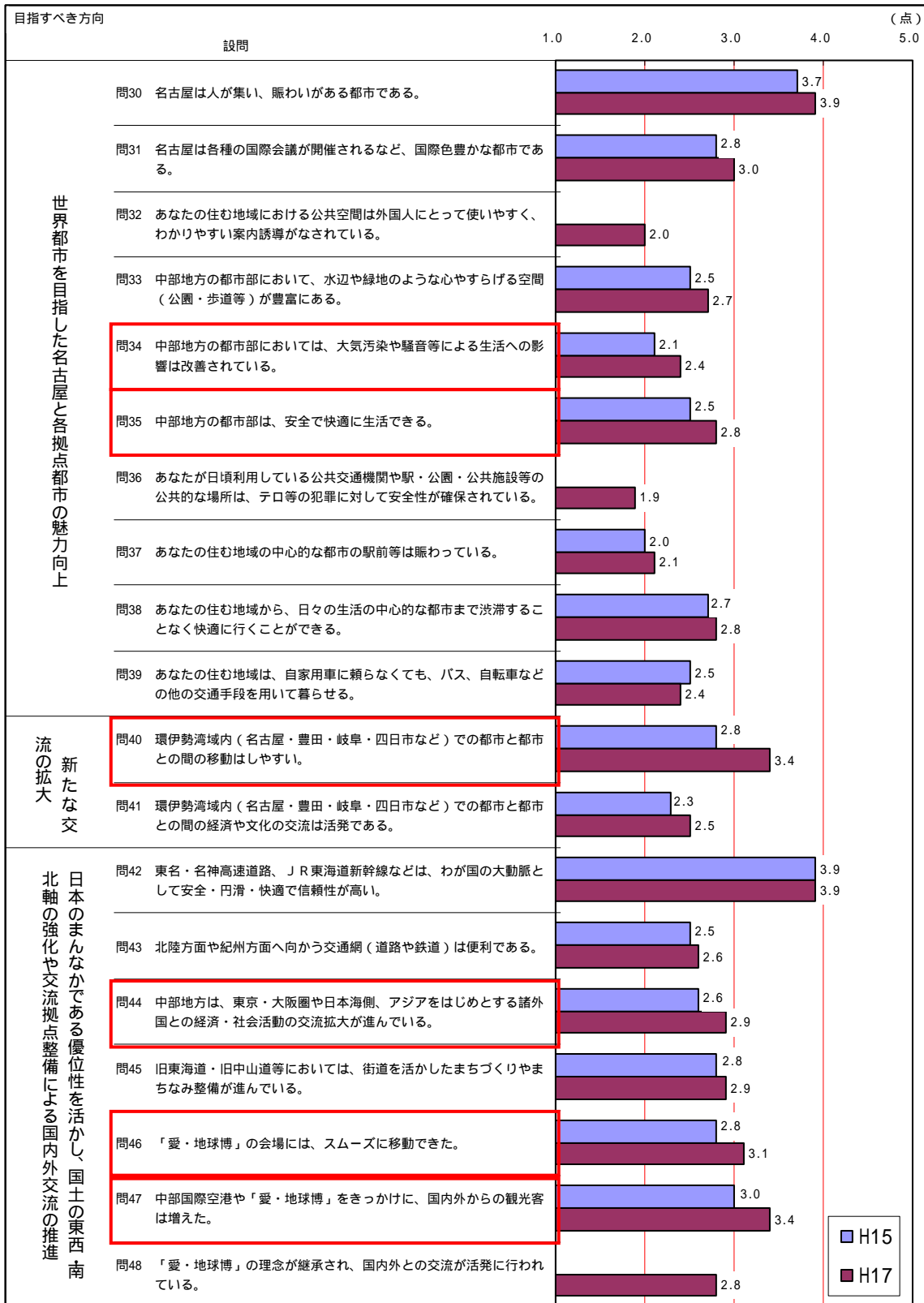
満足度の比較グラフ（H15 年度比較）



0.3ポイント以上上昇した項目
 0.3ポイント以上低下した項目



0.3ポイント以上上昇した項目
0.3ポイント以上低下した項目

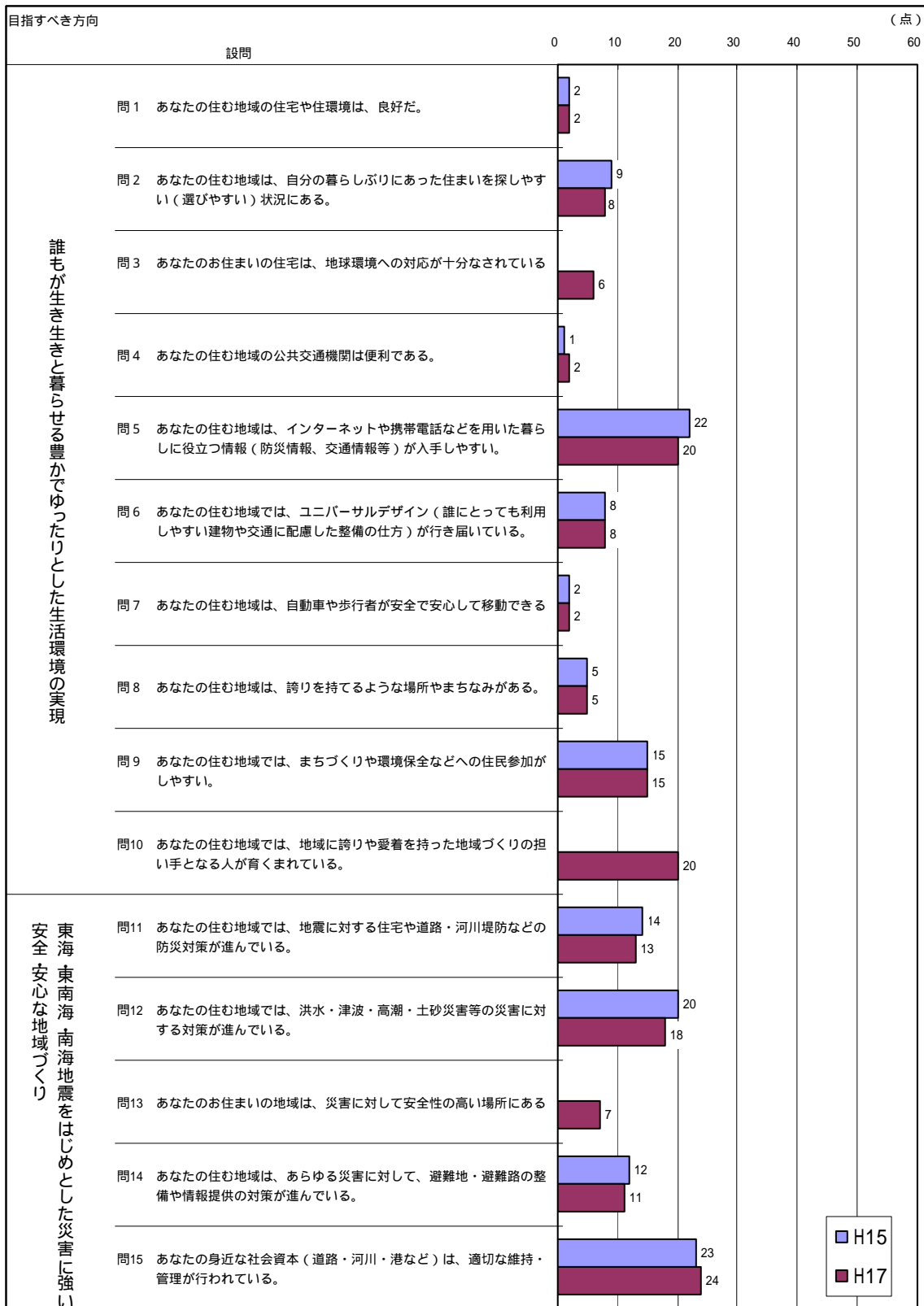


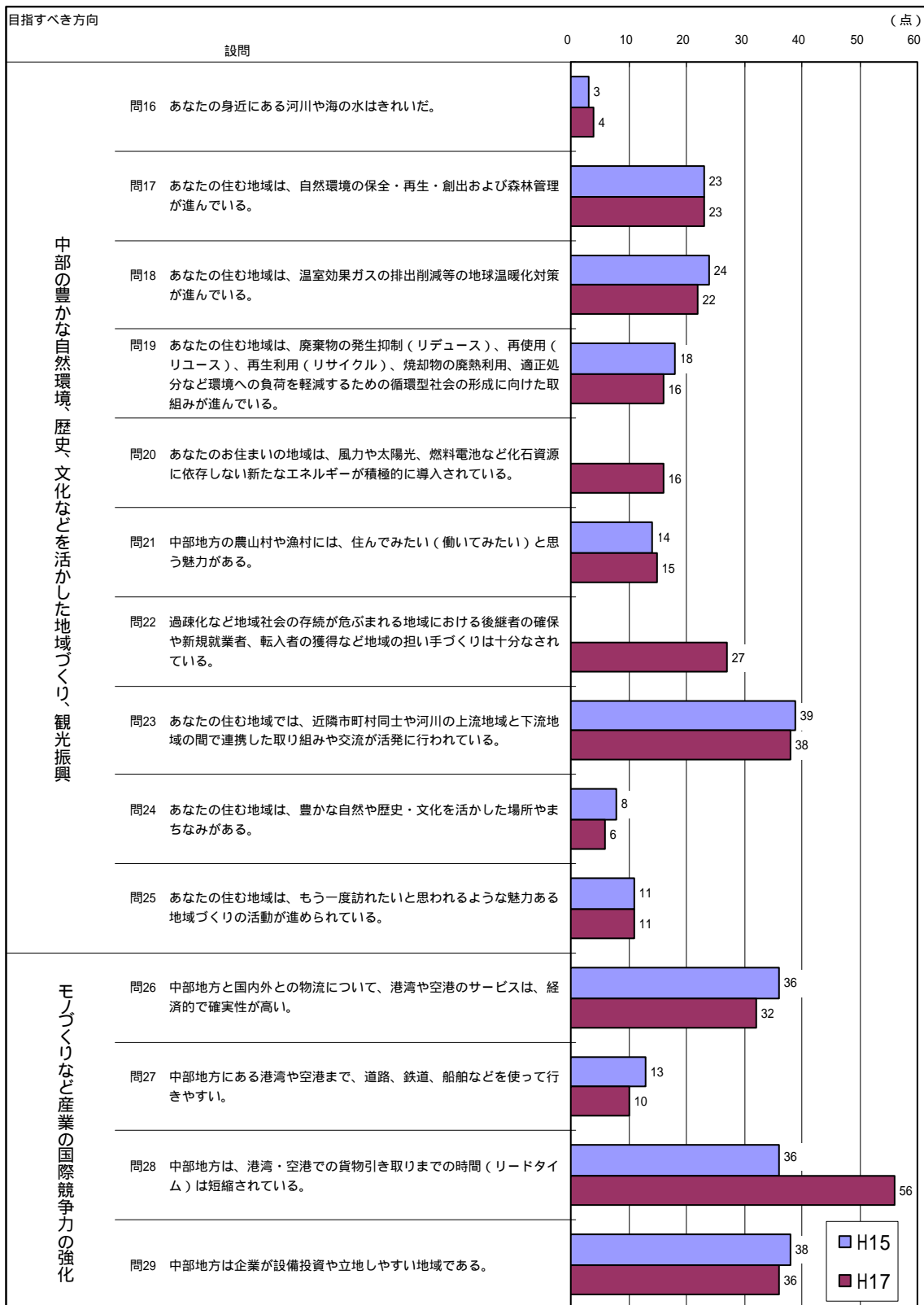
0.3ポイント以上上昇した項目
0.3ポイント以上低下した項目

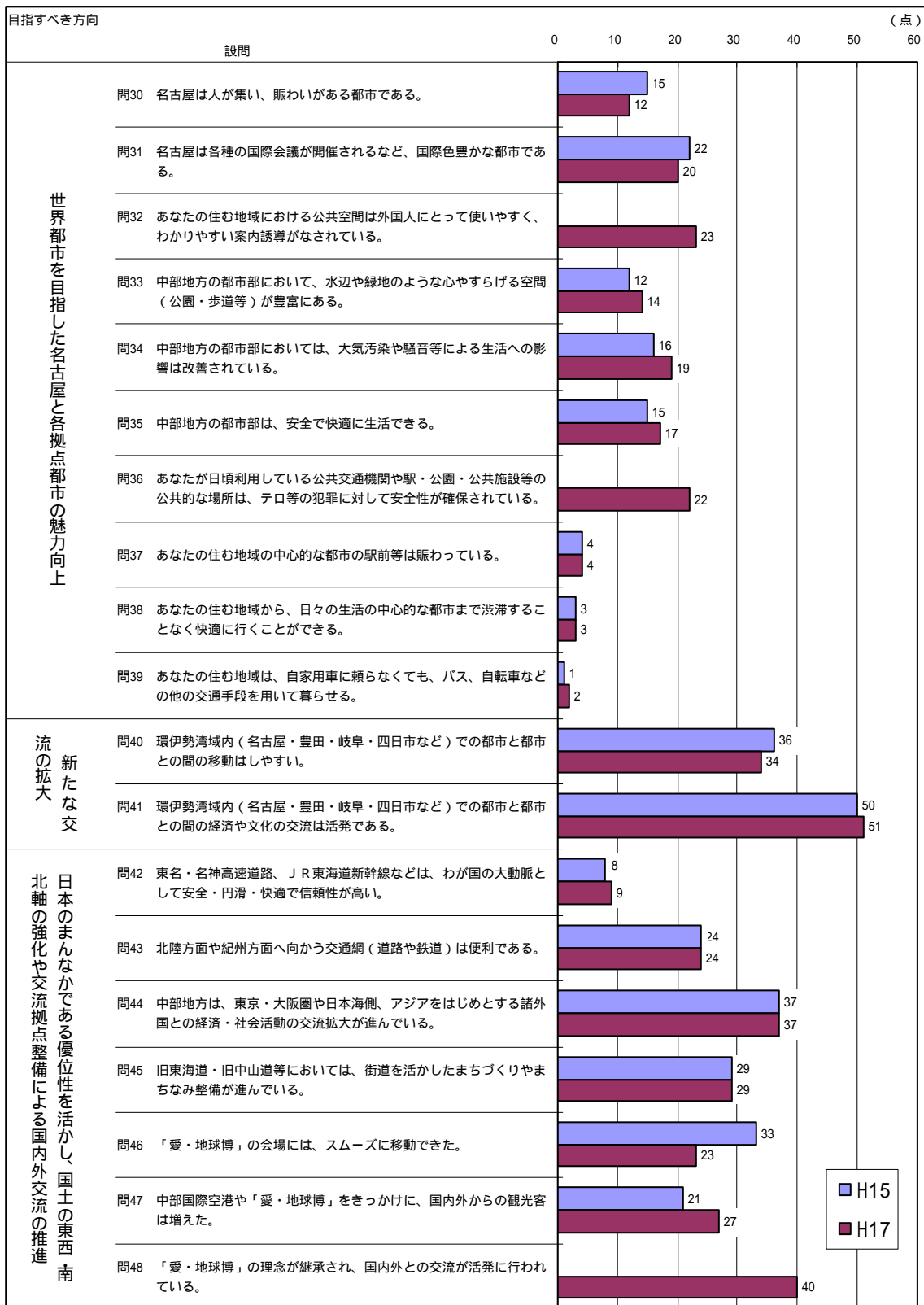
まんなかビジョンの 40 の具体的な目標のわかりにくさの比較

- ・ 目標のわかりにくさは、平成 15 年から概ね減少傾向にあり、施策の実施や PI の推進により、前回と比較して住民が目標に対する成果をイメージできるようになってきていると見ることができます。
- ・ 特に、「『愛・地球博』の会場には、スムーズに移動できた」は 33% から 23% に 10 ポイントの減少、「中部地方と国内外との物流について、港湾や空港のサービスは、経済的で確実性が高い」は 36% から 32% に 4 ポイント減少するなど、中部のビッグプロジェクトの成果が反映され、大きく減少していると考えられます。
- ・ 一方、割合が増加したものは 8 項目あり、特に「中部地方は、港湾・空港まで、道路、鉄道、船舶などを使って行きやすい」で 20 ポイント、「中部国際空港や『愛・地球博』をきっかけに、国内外からの観光客は増えた」で 6 ポイント増加しています。これらもビッグプロジェクトに関わりの深い項目ですが、直接的な効果ではなく、その成果がメディア等で情報発信されていないことから、「わからない」の回答が増加したと考えられます。

まんなかビジョンの40の具体的な目標のわかりにくさの比較グラフ（H15年度比較）







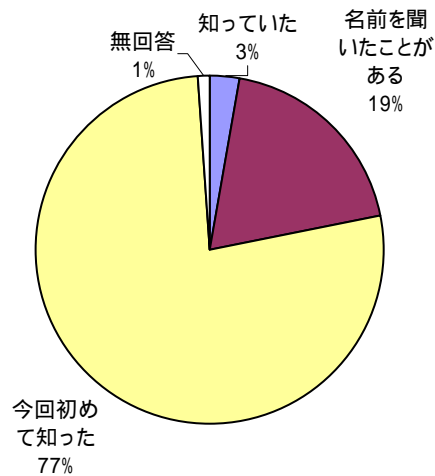
東海環状都市圏・環伊勢湾広域交流圏などの形成による新たな交流の拡大

(5) まんなかビジョンについて

「問 あなたは『まんなかビジョン』のことを知っていましたか？」

- ・ 「知っていた」、「名前を聞いたことがある」は合わせて全体の約2割にとどまります。

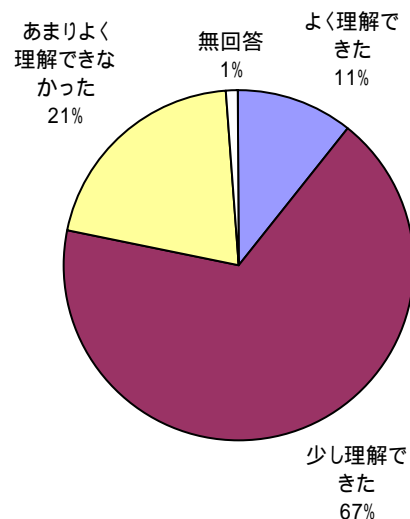
「まんなかビジョン」の認知度 (n=3,487)



「問 このアンケートに回答することで、『まんなかビジョン』や中部地方の今後の社会資本整備に対する理解ができましたか？」

- ・ 全体の8割近くが「まんなかビジョン」や社会資本整備に対して、「よく理解できた」、「少し理解できた」という回答を示しており、本アンケートにより一定のP I効果は得られたと考えられます。

アンケートによる「まんなかビジョン」や社会資本整備に対する理解 (n=3,487)



(参考)関心度・満足度のクロス評価(前回調査との比較)

目標に対する関心度の「関心がある」割合をx軸、満足度の「得点」をy軸として、x y軸上にプロットしました。

分布状況

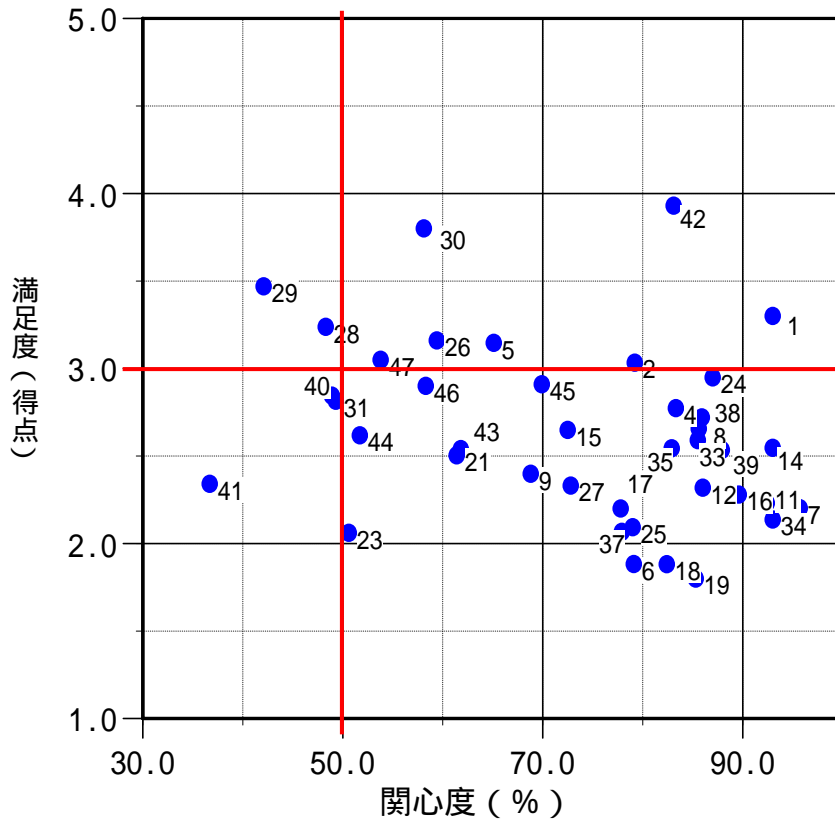
- ・平成15年の前回調査と今回の調査結果では、「満足度」「関心度」による分布状況に大きな変化は見られません。
- ・平成15年調査において「満足度」が3.0点ラインの少し下にあった項目の多くが、3.0点ラインの上に移動しており、全体的に満足度が増加していることが確認できます。

各目標の「関心度」「満足度」の状況

| 内容 | 設問NO. | 目標NO. | 目標 |
|---------------------------|---------------------------|-------|---|
| 「関心度」50%以上 「満足度」3.0点以上 | 26 | -1 | 国内外物流の経済性・確実性を向上します |
| | 27 | -2 | 港湾・空港までのアクセス時間を短縮します |
| | 30 | -1 | 名古屋の賑わいを創出し、都市再生を推進します |
| | 40 | -1 | 環伊勢湾および東海環状都市間のアクセス時間を短縮します |
| | 42 | -1 | 日本の東西大動脈の信頼性を向上します |
| | 46 | -5 | 「愛・地球博」来場者のスムーズな移動を実現します |
| | 47 | -6 | 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着および国内外交流の拡大を図ります |
| | 19 | -4 | 循環型経済社会を構築します |
| | 24 | -7 | 自然環境・歴史・文化資源を再生・活用した魅力ある地域づくりを進めます |
| | 1 | -1 | 住宅や住環境の水準を高め、健康でより豊かな住まいづくりを推進します |
| | 2 | -2 | ニーズにあった住宅を安心して選択できる環境を整備します |
| | 5 | -4 | IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします |
| | 「関心度」50%未満 「満足度」3.0点以上 | 28 | -3 |
| 29 | | -4 | 企業が設備投資しやすい環境をつくります |
| 「関心度」50%未満 「満足度」3.0点未満 | 23 | -6 | 生活圏域や流域の連携を強化します |
| | 41 | -2 | 環伊勢湾および東海環状都市間の経済・社会活動の交流拡大を図ります |
| 「関心度」50%以上 「満足度」3.0点未満 | 32 | - | - |
| | 31 | -2 | 名古屋の国際性を高めます |
| | 33 | -3 | 都市の中にオープンスペースや緑を確保し、やすらぎと風格を与えます |
| | 34 | -4 | 大気汚染や騒音等による生活環境への影響の改善を図ります |
| | 35 | -5 | 安全で快適な質の高い都市生活を実現します |
| | 37 | -6 | 各拠点都市の賑わいを創出します |
| | 38 | -7 | 日常活動圏の中心都市まで快適に行けるようにします |
| | 39 | -8 | 自家用車に過度に依存しない、歩いて暮らせる、自転車も走りやすいまちを形成します |
| | 43 | -2 | 南北軸のスムーズな交通環境を整備し、信頼性・快適性を確保します |
| | 44 | -3 | 東西・南北軸と国内外交流拠点を活用した、東京・大阪圏や環日本海等の国内外と中部の経済・社会活動の交流拡大を図ります |
| | 45 | -4 | 旧東海道・旧中山道等のまちなみ整備により、街道沿いのまちなみを再生します |
| | 48 | -6 | 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着および国内外交流の拡大を図ります |
| | 16 | -1 | 水質・水量改善を図り、良好な水環境を保全・回復します |
| | 17 | -2 | 自然環境の保全・再生・創出および森林管理を推進します |
| | 18 | -3 | 温室効果ガス排出削減等の地球温暖化対策を推進します |
| | 21 | -5 | 農山漁村地域の魅力を向上します |
| | 22 | -5 | 農山漁村地域の魅力を向上します |
| | 25 | -8 | もう一度訪れたいと思う魅力ある地域づくりを進めます |
| | 4 | -3 | 公共交通機関の利便性を向上します |
| | 6 | -5 | ユニバーサルデザインが実感できる社会を実現します |
| | 7 | -6 | 安全で安心して移動できる生活環境をつくります |
| | 8 | -7 | 誇りを持って住むことができる地域づくり・まちづくりを目指します |
| | 9 | -8 | まちづくりを進めるグループ作りやその活動および女性や子供の視点に立った活動を支援します |
| | 11 | -1 | 地震等に対する安全性を確保します |
| | 12 | -2 | 風水害等(洪水・津波・高潮・土砂災害等を含む)に対する安全性を確保します |
| | 14 | -3 | あらゆる災害が発生した場合に被害を最小限に抑え、その対応・復旧が効率的に行えるようにします |
| | 15 | -4 | 信頼性のある社会資本を維持します |
| | 3 | - | - |
| | 10 | - | - |
| | 13 | - | - |
| | 20 | - | - |
| | 36 | - | - |

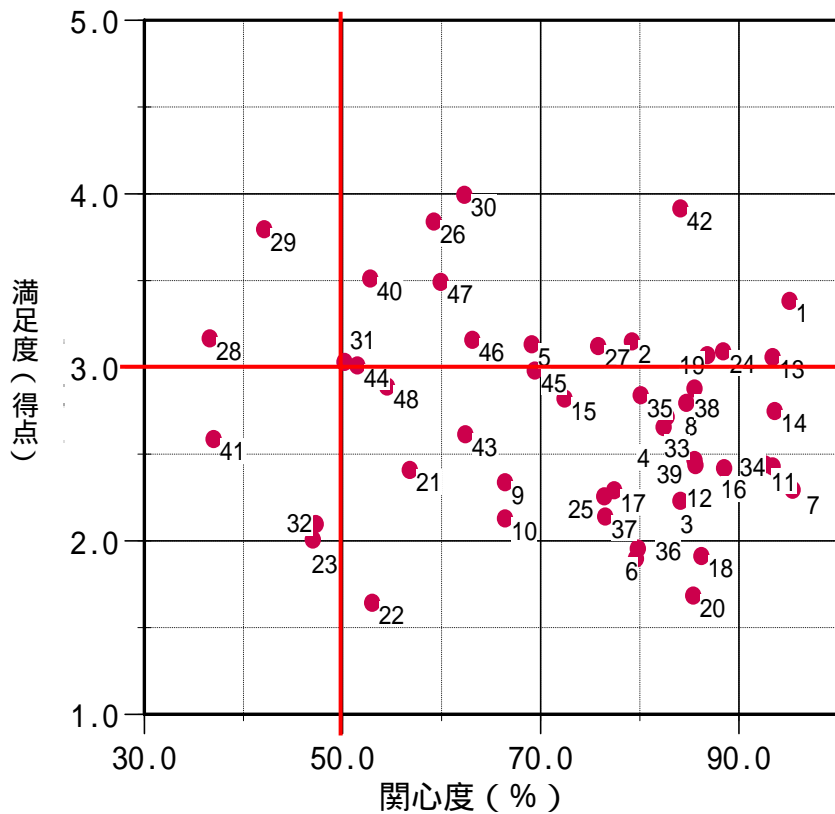
網掛けはH17年度調査における新規設問

H15 年度 各項目の「関心度」、「満足度」の分布状況



グラフ内の数値は設問NO.

H17 年度 各項目の「関心度」、「満足度」の分布状況



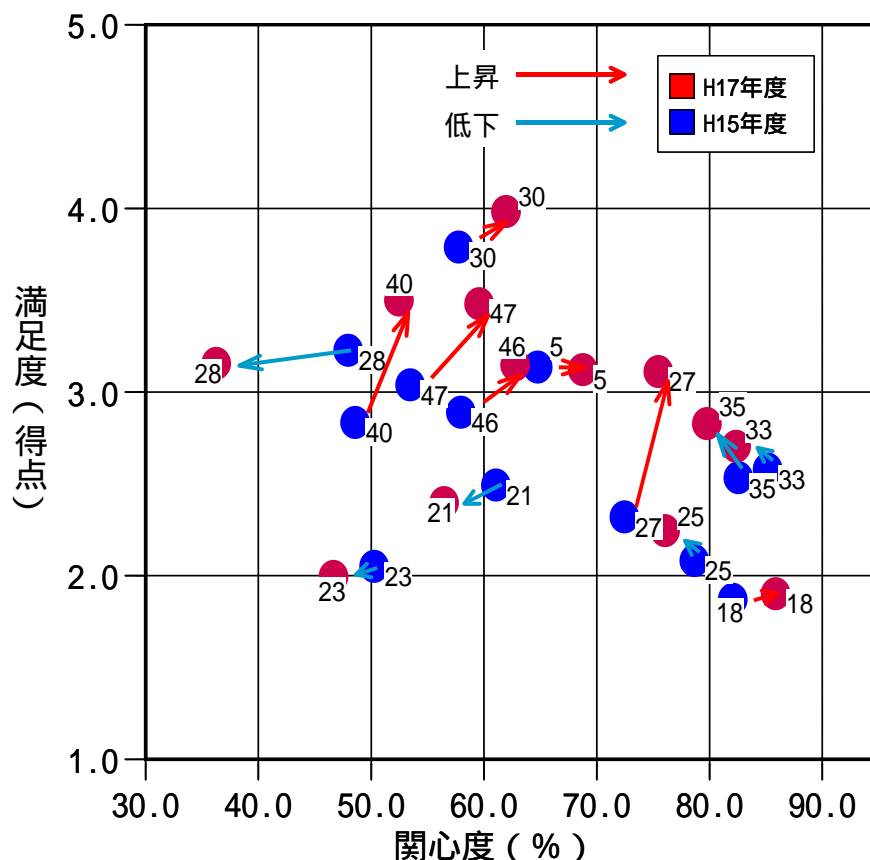
グラフ内の数値は設問NO.

変化の傾向

H15年度調査と比較して関心度が3.0ポイント、満足度が0.3点の増減のある項目について、その変化の傾向を見ました。

- ・ 「関心度」が大きく上昇した項目では、「満足度」は概ね上昇しています。これらは、主に中部国際空港や「愛・地球博」の開催に関わりの深い項目であり、関連プロジェクトなど事業の実施とともに住民の関心が高まり、その成果として満足も高まったと推察されます。
- ・ 一方、「関心度」が大きく低下した項目のうち、前回調査で「関心度」が相対的に高い項目において「満足度」は上昇し、「関心度」の相対的に低い項目において「満足度」は低下する傾向が見られます。
- ・ 「満足度」が大きく増加した項目については、「関心度」は概ね高まる傾向にあります。事業の成果が住民の目に見える形で表れたことにより、「関心度」、「満足度」ともに上昇したものと考えられます。

「関心度」が3ポイント以上変化のあった項目の推移



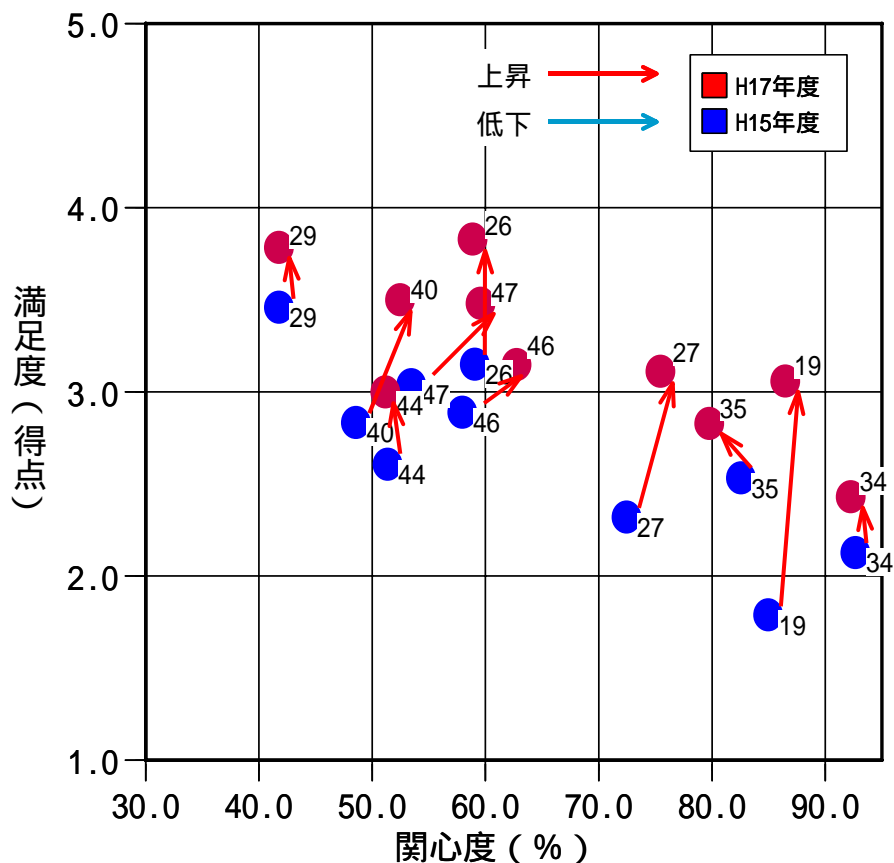
グラフ内の数値は設問NO.

関心度が3.0ポイント以上変化のあった項目

| 設問No. | 目標No. | 目標 | H15関心度 | H17関心度 | H15満足度 | H17満足度 |
|-------|-------|---|--------|--------|--------|--------|
| 5 | -4 | IT技術を活用した暮らしに役立つ情報を入手しやすくします | 65 | 69 | 3.1 | 3.1 |
| 18 | -3 | 温室効果ガス排出削減等の地球温暖化対策を推進します | 82 | 86 | 1.8 | 1.8 |
| 21 | -5 | 農山漁村地域の魅力を向上します | 61 | 57 | 2.4 | 2.3 |
| 23 | -6 | 生活圏や流域の連携を強化します | 51 | 47 | 2.0 | 1.9 |
| 25 | -8 | もう一度訪れたいと思う魅力ある地域づくりを進めます | 79 | 76 | 2.0 | 2.2 |
| 27 | -2 | 港湾・空港までのアクセス時間を短縮します | 73 | 76 | 2.3 | 3.1 |
| 28 | -3 | 港湾・空港での荷物引き取りまでの時間(リードタイム)を短縮します | 48 | 37 | 3.2 | 3.1 |
| 30 | -1 | 名古屋の賑わいを創出し、都市再生を推進します | 58 | 62 | 3.7 | 3.9 |
| 33 | -3 | 都市の中にオープンスペースや緑を確保し、やすらぎと風格を与えます | 86 | 83 | 2.5 | 2.7 |
| 35 | -5 | 安全で快適な質の高い都市生活を実現します | 83 | 80 | 2.5 | 2.8 |
| 40 | -1 | 環伊勢湾および東海環状都市間のアクセス時間を短縮します | 49 | 53 | 2.8 | 3.4 |
| 46 | -5 | 「愛・地球博」来場者のスムーズな移動を実現します | 58 | 63 | 2.8 | 3.1 |
| 47 | -6 | 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着および国内外交流の拡大を図ります | 54 | 60 | 3.0 | 3.4 |

満足度(得点) 関心度(%)

「満足度」が0.3点以上変化のあった項目の推移



グラフ内の数値は設問No.

満足度が0.3点以上変化のあった項目

| 設問No. | 目標No. | 目標 | H15関心度 | H17関心度 | H15満足度 | H17満足度 |
|-------|-------|---|--------|--------|--------|--------|
| 19 | -4 | 循環型経済社会を構築します | 85 | 87 | 1.7 | 3.0 |
| 26 | -1 | 国内外物流の経済性・確実性を向上します | 59 | 59 | 3.1 | 3.8 |
| 27 | -2 | 港湾・空港までのアクセス時間を短縮します | 73 | 76 | 2.3 | 3.1 |
| 29 | -4 | 企業が設備投資しやすい環境をつくります | 42 | 42 | 3.4 | 3.7 |
| 34 | -4 | 大気汚染や騒音等による生活環境への影響の改善を図ります | 93 | 93 | 2.1 | 2.4 |
| 35 | -5 | 安全で快適な質の高い都市生活を実現します | 83 | 80 | 2.5 | 2.8 |
| 40 | -1 | 環伊勢湾および東海環状都市間のアクセス時間を短縮します | 49 | 53 | 2.8 | 3.4 |
| 44 | -3 | 東西・南北軸と国内外交流拠点を活用した、東京・大阪圏や環日本海等の国内外と中部の経済・社会活動の交流拡大を図ります | 52 | 52 | 2.6 | 2.9 |
| 46 | -5 | 「愛・地球博」来場者のスムーズな移動を実現します | 58 | 63 | 2.8 | 3.1 |
| 47 | -6 | 中部国際空港の開港と「愛・地球博」を契機とした観光客の定着および国内外交流の拡大を図ります | 54 | 60 | 3.0 | 3.4 |

満足度(得点) 関心度(%)